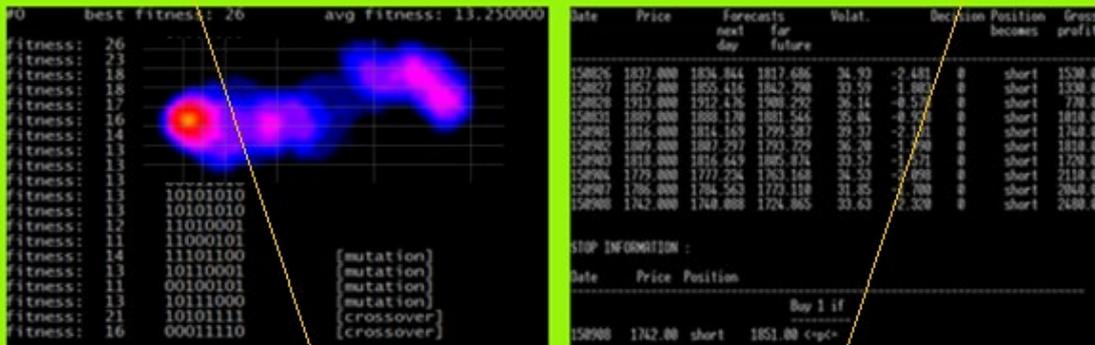


The essence of the market and its structural elements

Edited by ISHIHARA jun



Date	Price	Forecasts next day	far future	Volat.	Decision	Position becomes	Gross profit
101129	1012.000	1012.408	1015.680	15.20	0.852	0	long 610.0
101130	995.000	995.083	995.747	17.05	0.176	0	long 440.0
101201	1000.000	1000.152	1001.371	16.34	0.322	0	long 490.0
101202	1016.000	1016.391	1019.524	17.87	0.813	0	long 650.0
101203	1019.000	1019.390	1022.516	16.67	0.808	0	long 680.0
101206	1018.000	1018.324	1020.922	15.19	0.673	0	long 670.0
101207	1015.000	1015.235	1017.115	14.26	0.488	0	long 640.0
101208	1024.000	1024.350	1027.156	14.59	0.722	0	long 730.0
101209	1028.000	1028.371	1031.340	13.91	0.761	0	long 770.0
101210	1021.000	1021.211	1022.897	13.88	0.436	0	long 700.0

STOP INFORMATION : contract 1101

Date	Price	Position	Sell 2 if	Sell 1 if
101210	1021.00	long	964.00 <=p<= 1009.00	<=p<= 963.00



「フォース・ターニング」選挙が火種を巻き起こす

ジム・クインが The Burning Platform ブログを通じて執筆

「ある国（おそらく世界）の火山噴火を想像してください。最初は、Unraveling 時代に作られた苦難のチャンネルに沿って流れ、触媒によってさらに広がりました。チャンネルから解放された噴火がどこに向かうかを予測しようとするのは、地震の断層線を正確に予測しようとするようなものです。事前にわかっているのは、クライマックスの溶融成分についての何かだけです。これには次のものが含まれます。

公的債務の不履行、給付信託基金の破綻、貧困と失業の増大、貿易戦争、金融市場の崩壊、ハイパーインフレ（またはデフレ）などによる経済的苦境

社会的な苦悩、階級、人種、土着主義、宗教によって引き起こされた暴力、武装したギャング、地下民兵、および壁で囲まれたコミュニティによって雇われた傭兵によって助長される暴力。

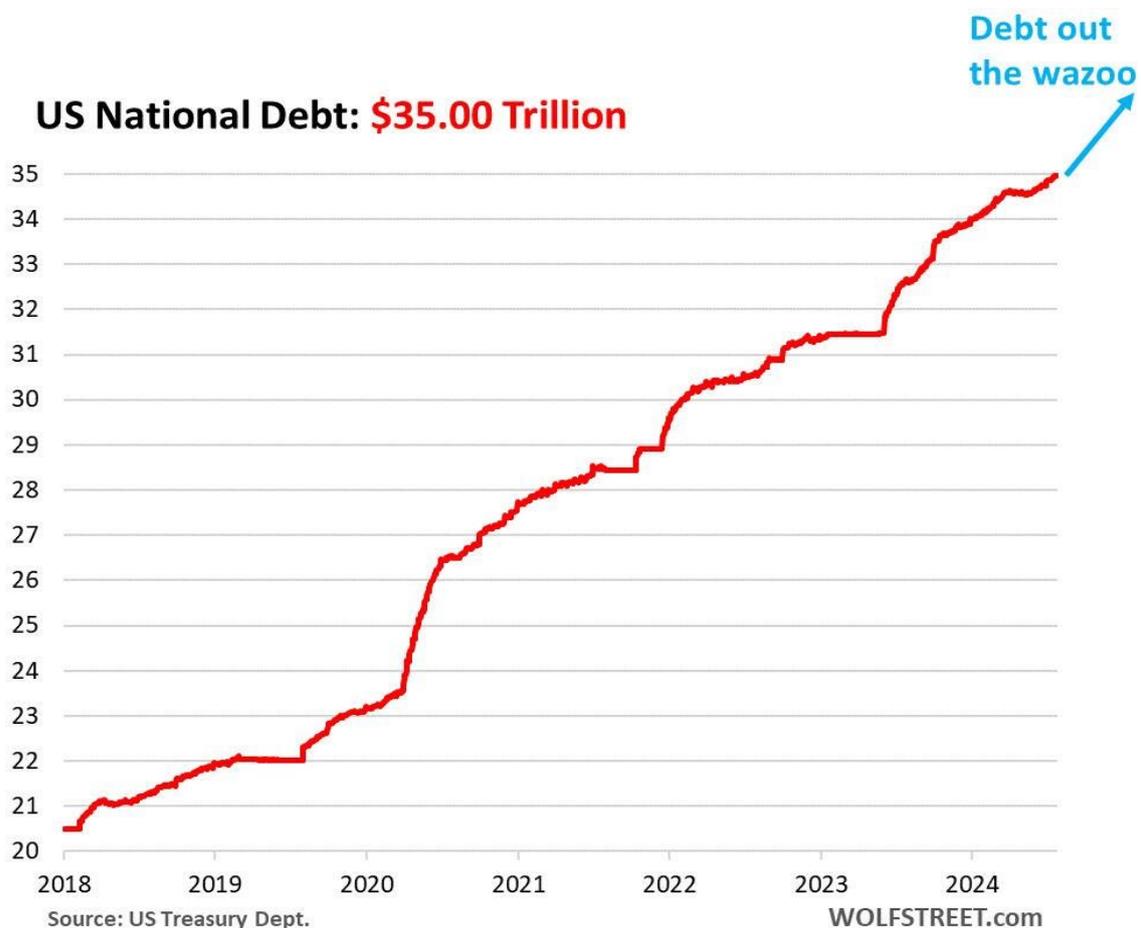
制度の崩壊、公然たる税金反対運動、一党支配、憲法の大幅な改正、分離主義、権威主義、国境の変更を伴う政治的苦境

テロリストや大量破壊兵器を装備した外国政権との戦争による軍事的苦境

（『フォース・ターニング』 - シュトラウス&ハウ）

この数週間で、これが私たちの生涯で最も重要な選挙だという話を何度聞いたことだろう。ストラウスとハウが 1997 年に「第 4 の転換期」を出版したとき、国家債務は 5.4 兆ドルで、国は年間 220 億ドルの赤字を計上していた。現在、私たちは 4 日ごとに 220 億ドルの債務を追加しており、年間 2 兆ドルに上る。彼らは、次の第 4 の転換期の主なきっかけは、債務、社会の衰退、そして世界的な混乱であると仮定した。

この危機が 17 年目を迎える中、これまで進行中のこの危機を推進してきた促進者を予測する彼らの先見性に疑問を抱く人は誰もいない。2008 年に連邦準備制度理事会とウォール街の陰謀団の所有者によって引き起こされた債務の爆発的な増加は、すべての混乱、債務の創出、圧倒的なインフレ、権威主義的措置、社会の衰退、妄想の祝福、政権メディアとその腐敗した政府の共謀者の正当性の喪失、そしてトランプの台頭を引き起こした。この国、そして西側諸国のほとんどが極度の経済的、社会的、政治的、軍事的苦難を経験しており、今度の選挙は間違いなく市民と世界の大火事を引き起こすだろう。



この選挙の結果がどうであろうと、負けた側はその結果を受け入れないだろう。数週間前から、郵便投

票の不正、違法な大量投票、そしていつも頼りになるドミニオンの票入れ替えアルゴリズムといった民主党のイカサマがトランプ氏の圧倒的な差を覆せないなら、1984年にレーガン氏がモンデル氏を破ったときと同等の圧勝でトランプ氏がこの選挙に勝つことは明白だった。

権力を握っている者たちは、トランプの暗殺、選挙を中止させるための第三次世界大戦やその他のでっち上げた危機の開始、トランプを偽の犯罪で有罪にしたり1月の就任式を阻止するための違法なローファー計画、あるいはBLM、アンティファ、違法テロリストの大群を街に解き放って大混乱を引き起こし内戦を引き起こすことなど、権力を保持するためなら何でもするつもりだ。**2020年の選挙を盗み、アメリカ国民に対して犯罪を犯した反逆のろくでなしたちは、トランプが勝った場合に自分たちに課せられるかもしれない報復と懲役刑を恐れている。彼らは黙って夜の中に消えてはいないだろう。**

ディープステートは、捕らえたソロスの判事や地方検事を使って違法な法律行為を行うなど、選挙詐欺の策略を通じて不正行為を実行しており、反逆的な全体主義者によってまた選挙が盗まれたと感じれば、一般人（いわゆる嘆かわしい人々、いわゆるゴミ）を激怒させるだろう。**普通のアメリカ人は限界に達している。バイデン/ハリスのインフレ津波、彼らのコロナ禍の惨事と皮肉にもインフレ削減法と名付けられた法律によって解き放たれたもの、そして連邦準備制度理事会で彼らを支援する者たちによって、何兆ドルもの新たな不換紙幣が印刷され、何年も金利が0%に維持されたことで、銀行口座が資金不足に陥っている。**

現実世界で暮らす人なら誰でも、インフレ率は政府が操作した報告数値の少なくとも2倍は高いことを知っている。政府は、GDP成長率、雇用増加数（昨年は85万人の過大評価）、失業率（労働市場における割合が大幅に過小評価されている）、政府統計のすべてについて、経済が好調ですべての船が浮かんでいるという誤った物語を描くために、私たちを騙している。浮かんでいる船は、0.1%の人々のヨットだけである。

現実には、経済危機は若者にも老人にも心理的トラウマを引き起こしている。食料、エネルギー、家賃、医薬品、そしてほとんどの必需品のコストが史上最高値に達する中、固定収入の高齢者や生活保護に頼る貧困層はますます貧困に陥っている。この国の平均所得では誰も家を買う余裕がない。クレジットカードの負債や自動車ローンの負債は返済不可能なレベルに達し、債務不履行や差し押さえが相次いでいる。一方、株式市場や住宅市場は史上最高値に達し、富裕層はさらに裕福になり、彼らの日々の贅沢な生活にとって下位90%の窮状は問題にならない。

この経済状況の二極化は、トランプ氏の選挙運動を推進するポピュリストの怒りに表れている。普通のアメリカ人は、体制に騙されることにうんざりしており、政治家、左翼の億万長者（ソロス、ゲイツ、ベゾスなど）、体制メディアのコメンテーターが、彼らの全体主義的な命令に従うよう要求し、彼らの「素晴らしい」経済についての明らかに誤った物語を信じるようプロパガンダで宣伝されることにうんざりしている。**バイデン氏は名ばかりの大統領であり、それは彼の痴呆症にかかった暴言や、彼がもはや彼**

らの要求を満たさなくなったときに彼をゴミのように捨て去る糸を引いている人々によって証明されている。

ストラウスとハウは、支配的寡頭政治が社会構造を分裂、破壊、劣化させ、この国を築く助けとなった共通の価値観を消し去ろうと必死になって試みることで、どのような社会的苦難がもたらされるかを想像していなかったと思う。

アメリカ先住民の低賃金の仕事を奪い、国の社会福祉制度を圧迫し、不法投票者を激戦州に送り込み、かつては同質だったコミュニティに市民の混乱を引き起こすことを目的とした、第三世界の底辺層による組織的、資金提供、促進された我が国への侵略は、国の経済崩壊に寄与し、グレート・リセット主義者が新世界秩序の陰謀を実行することを可能にするように設計されている。

2015年6月にトランプがトランプタワーのエスカレーターを降りて大統領選に出馬すると発表した日から、この国では政治的苦境が高まっている。トランプは経済的、社会的に困窮している人々の大衆の怒りをかき集め、ディープ・ステートが選んだ人物に対して世紀の番狂わせを成し遂げ、ディープ・ステートによるクーデターを開始し、それは今日まで続いている。政治システムは詐欺、汚職、不正行為、そして選挙の適切な法的機能の無視に満ちている。

2020年の選挙は、主に、コロナ対策として一度限りで導入されたとされる偽の郵送投票によって盗まれた。今やそれは恒久的なものであり、投票に身分証明書や市民権の証明は必要なく、民主党によって不法移民が不法に投票できるようにされており、司法制度は犯罪と逸脱行為を促進することだけを目的とする左翼活動家裁判官で溢れているなど、組織的な不正が意図的にシステムに組み込まれている。

CIA、FBI、司法省、国務省内のディープ・ステートの寡頭政治家と彼らに雇われた手下の必死さは明白で、極めて危険である。彼らは、犯罪的陰謀が暴露されるのを防ぐために、システムを焼き払おうとしている。彼らはすでにトランプ氏を投獄し、殺害しようとしており、1月の就任式までそうし続けるだろう。選挙を阻止するにはおそらく遅すぎるが、彼らが行うことはどれも、この時点では除外できないほど極悪非道なものではない。トランプ氏の勝利の差が彼らの不正行為能力を超えると、彼らはプランBに進み、アメリカのすべての主要都市で雇われた暴力犯罪者の大群を解放し、トランプ氏が権力を握るのを阻止しようとするだろう。

バイデンとハリスの取り巻きは、スムーズな権力移行を阻止するために、あらゆる法廷闘争の手段を駆使するだろう。1月6日の偽の暴動は、これらの裏切り者がやろうとしていることに比べれば、古風なものに思えるだろう。彼らは私たちを、嘆かわしい、ゴミのような、人種差別的なナチスだと考えていることはわかっているので、その考えから、彼らは私たちを非人間とみなし、私たちの声を抑圧するために致命的な手段を使うことができるのだ。バイデン-ハリス政権は、9月27日に国防総省指令

5240.01 を更新し、民間の法執行機関を支援する際に、特定の状況で致命的な武力行使を認める条項を盛り込んだ。この不安定な選挙が最終段階に入中、この変更のタイミングは確かに疑わしい。

ここで軍の苦境が醜い顔をのぞかせる。我々は、目覚めた軍が トランプに対するクーデターでディープステートの他の悪役と協力し共謀したことをわかっている。ミリーは敵と連絡を取り、最高司令官からの直接命令を無視する計画を立てるなど、トランプの背後で反逆的な行動をとった。バイデン政権下の軍指導部は無能であり、多様性と公平性を重視し、トランプに反対する勢力の命令に従う用意があることが証明された。

トランプ氏が大統領に就任する前、あるいは就任直後に軍が暴力的なクーデターに参加する可能性はあり得ないわけではない。違法な反逆行為を犯したと自覚している人間は、暴露や起訴の脅威を感じれば、その運命を避けるためなら何でもする。軍事的に見て、今は我が国にとって極めて危険な時期である。

ネオコンが議会を支配し、彼らの政権メディアパートナーがロシア、中国、イラン、北朝鮮に関する彼らのプロパガンダの論点を繰り返す中、これらのサイコパスは第 3 次世界大戦に向けて全力を尽くしている。

ウクライナ、ガザ、台湾海峡、または南北の国境のいずれで開始されるにせよ、彼らの目的は世界紛争と、賄賂を配る軍産複合体の法外な利益である。彼らはトランプが戦争屋ではなく、ウクライナと中東で和平協定を仲介しようとするだろうと知っている。そのため、彼らはトランプが大統領に就任する前に、無謀にも世界規模の大騒ぎを起こそうとあてもなく暴れている。

「トンキン湾」偽旗事件に用心せよ。これは、その時の我々の目的に適う「邪悪な独裁者」と戦争するための根拠として利用されるだろう。この選挙の結果がどうであろうと、血は流れるだろう。それがアメリカの地でアメリカ人の血であろうと、外国の地でアメリカ人の血であろうと、あるいはその両方であろうと。

第四の節目は常に暴力的な結末に向かって加速し、予想外の数の死者を出す。アメリカ南北戦争の第四の節目で男性人口の 5%以上が殺され、第二次世界大戦の第四の節目で 6500 万人が殺された。現在の殺人技術レベルでは、世界的紛争で起こり得る犠牲者の数は天文学的であり、平均的なアメリカ人には想像もできないだろう。

トランプ氏の当選が、我々が直面している財政破綻を覆すことができるという誤解は、私には全くない。せいぜい、トランプ氏は財政破綻のタイムラインを遅らせ、任期中に第 3 次世界大戦が勃発するのを防げるかもしれない。アメリカ史上最悪の大統領候補であるカックリン・カマラ氏とタンポン・ティム氏の

選出は、トランプ政権下で経済と財政の崩壊を確実に起こすためにディープステートによって意図的に仕組まれたのではないかとさえ思っている。

問題を悪化させたのはフランクリン・ルーズベルト大統領の政策だったのに、大恐慌の原因をハーバート・フーバー大統領に押し付けてトランプ氏の信用を失墜させることは、民主党のディープステートに、トランプ氏の政策が崩壊を引き起こしたという物語を提供することになるかもしれない。

今回の選挙で敗れた人たちは、選挙は盗まれたと宣言し、勝者を認めようとしなないことは間違いない。国民の75%以上が選挙後の暴力を予想している以上、暴力は起こるだろう。それがどこへ行き着き、どんな予期せぬ結果が国に降りかかるかは不明だが、分断された国をさらに分裂させることは間違いない。

この第4の転換期危機の核心要素（負債、社会の衰退、世界的な混乱）は、当初の原動力であり、2030年代初頭の不満の冬のクライマックスに近づくにつれて、引き続き原動力となっている。今からその時までが、私たちの生涯で最も危険な時期となる。パニック、混乱、金融危機、独裁主義的措置、内戦、世界戦争、その他無数の壮大な課題が待ち受けている。彼らは、大奪取計画を通じて、あなたの富を奪おうとする。

彼らは、CBDC、大規模監視、そして新世界秩序の命令の全体主義的執行を通じて、グレート・リセットを実行しようとするだろう。彼らは、戦争、ワクチン、貧困層の飢餓を通じて人口削減の取り組みを続けるだろう。彼らは、億万長者の寡頭政治家によって支配され、軍/警察の悪党によって執行される世界統一政府を導き、米国憲法の棺に最後の釘を打ち込もうとするだろう。彼らは大衆の士気をくじき、政府だけが彼らを救うことができると信じ込ませ、逃げ道のない電子強制収容所へと行進させようとしている。

この第4の転換期について私が考えていることはすべて、27年前、つまり世紀の変わり目前、そしてこの危機が引き起こされる11年前にストラウスとハウが示した潜在的な結果に行き着く。火山の溶岩がどのような苦難の経路から解き放たれるにせよ、今後数年間は不安で困難で破壊的で死をもたらすだろう。これから起こる厳しい現実から逃れることはできない。今回の選挙の結果で吹き始める厳しい冬の風に耐えられるほどの備えはできない。

11月5日以降、何もかもが変わってしまう。また選挙が行われるのだろうか？10年後も私たちの国は今のまま存在しているのだろうか？ストラウスとハウは具体的な結果を予測したわけではないが、現実的に起こり得る結果を4つ挙げた。そのうち3つは悲惨なもので、人類の終焉も明確な可能性として挙げられる。最近ベストセラーとなった『核戦争 シナリオ』を読めば、精神の弱いサイコパスのリーダーたちが止められない一連の対応を開始すれば、世界は数時間で終わる可能性があることに気づくだろう。

世界は常に一直線に進んでいると信じる直線思考の初心者は、これらの警告を単なる陰謀論の破滅ポルノとして無視するだろうことはわかっている。彼らは歴史の周期性に興味がなく、政権メディアのプロパガンダの代弁者によって強制され、人口の大半を占める NPC によって繰り返される政府の物語を信じ続けるだろう。それでいい。彼らは現実から目を背け、権力者がばらまく妄想的な戯言を信じることができ、第 4 の転換期は彼らを現実、苦痛、死、破壊の津波で襲うだろう。それが現実なのだ。

人々は冷静になって、これから待ち受ける課題を理解する必要がある。簡単な解決策は見当たらない。また、この第 4 の転換期を生き抜く秘訣を記したニュースレターを販売しているわけでもない。私は 10 年以上警告を発し続けてきたが、私の考えを変えるような出来事はこれまでも、現在も起きていない。

この第四の転換は人類の終焉を意味するかもしれない。それはすべてを破壊し、何も残さない、全滅的なハルマゲドンとなるかもしれない。人類が自ら絶滅するとしたら、それはおそらく、支配的な文明が第四の転換を引き起こし、悲惨な結末を迎えるときだろう。この第四の転換でこれらすべてに終止符を打つには、社会的災害、人間の悪意、技術的完成度、そして不運が極めてあり得ないほど混ざり合うことが必要となるだろう。

第四の節目は 近代の終焉を意味するかもしれない。15 世紀半ばのルネッサンスから始まった西洋の世俗的なリズムは、突然終焉を迎えるかもしれない。第七の近代の世紀が最後のものとなるだろう。これも総力戦から来るかもしれないが、恐ろしいが、最終的なものではない。科学、文化、政治、社会が完全に崩壊するかもしれない。このような悲惨な結果は、支配的な国（今日のアメリカのように）が第四の節目のエクピロシスに地球を飲み込ませた場合にのみ起こるだろう。しかし、この結果は、予見可能なテクノロジーと悪意によって十分に起こり得る。

第四の転換期は 近代化を免れるかもしれないが、我が国の終焉を意味するかもしれない。それは、アメリカという言葉が意味するようになった政治的構成、大衆文化、そして道徳的立場に終止符を打つかもしれない。

国家は 3 世紀にわたって持ちこたえた。ローマは 12 世紀、ソビエト連邦はわずか 1 世紀だった。第四の転換期は国家存続のための重大な分岐点である。過去 3 回のアメリカの危機は、いずれも極めて危険な瞬間を生み出した。

革命では、共和国の誕生そのものが、複数の戦いで危うく命を落とした。南北戦争では、連邦は、当時史上最悪の戦争とみなされた 4 年間の虐殺を辛うじて生き延びた。第二次世界大戦では、一時的に勝利していた民主主義の敵を国は滅ぼした。敵が勝っていたら、アメリカ自体が滅んでいたかもしれない。おそらく、次の危機は、同様の規模の脅威と結果を国にもたらすだろう。

あるいは、第四の節目は 単に千年紀の終わりを示すものかもしれない。人類、現代性、そしてアメリカ

かは、すべて耐え抜くだろう。その後、新しい気分、新しい高揚感、そして新しい世紀が訪れるだろう。アメリカは生まれ変わるだろう。しかし、生まれ変わっても、同じではないだろう。

私は 10 年以上警告を発し続けてきたが、私の考えを変えるような出来事はこれまでもこれからも起こらない。同じ考えを持つ人々と友達になり、できる限りの勇気と不屈の精神を奮い起こすことが、私ができる最良のアドバイスである。

今後数年間に最も当てはまる例えは、氷点下の気温の中で猛烈な吹雪の中を何マイルも歩き、生存率が 50%未満になる準備をすることだ。

幸運を祈ります。

今回の米大統領選挙で民主党が勝てば市民戦争及び第三次世界大戦の確率が格段に上がる。

「負債処理にはインフレとリスクが使われる。次に誰が大統領に選ばれるかは関係ない。次の機会 FRB 議長が誰になるかは関係ない。SEC の次期長官が誰になるかは関係ない…現金の劣化が始まったのだ」

資産運用の究極の目的はインフレヘッジである。



『フォース・ターニング（第四の節目）』のニール・ハウは、米国の再生と素晴らしい時代の前には「危機とインフレ」がやってくると警鐘を鳴らしている。危機に対してわれわれができることは、分散投資、ゴールドの保有、そして仲間と家族を大切にすることである。

「愛の物語はハローとグッドバイ。人生の物語はウィンクするより短い…」

2024年11月5日

石原 順



market essential point intelligence



Edited by ISHIHARA jun

黄金律は実在する

The Golden Rule Is Real

<https://www.zerohedge.com/precious-metals/golden-rule-real>

次の選挙から地政学的な不安定さまで、今は議論すべきことがたくさんある。しかし、今日は金（ゴールド）について話したい。私は金を、かつての、そして未来のお金と呼んでいる。



金の裏付けが 1971 年に完全に崩壊するまで、金は古代から貨幣として使われてきた。さらに、中央銀行や財務省は準備金として金を 3 万 7000 トン以上保有している。

なぜか？ その答えは、金が依然として世界の通貨システムの基盤にあるからだ。ただし、どの政府もそれを認めない。なぜなら、認めれば、紙幣に比べて金が不足していることが露呈するからだ。

しかし、金は再び通貨システムの前面に出てきている。中央銀行は急いで金を買っている。近い将来、ドル建て金価格を大きく上昇させるであろう主要な地政学的トレンドに目を向ける前に、いくつかの関連データを見てみよう。

今日のドル建て金価格は 1 オンスあたり 2,754 ドル（通常の日次変動はある）。2022 年 11 月 3 日の時点では、金は 1,630 ドルだった。2 年足らずで 69% の上昇だ。2019 年 6 月初旬、金は 1 オンスあたり 1,375 ドルだった。

つまり、金のドル価格はわずか 5 年余りで 2 倍になったということだ。

この上昇のほとんどは過去 1 年間に起きたものだ。2023 年 10 月、金はたった 1,845 ドルだった。複数年のトレンドと考えるにせよ、最近のトレンドと考えるにせよ、金は最近、劇的な勢いで上昇している。

このような値動きの背景には、投資家が理解すべきシンプルだが重要な数学がある。それは、今後数ヶ月の間に金で大きな利益を上げるための鍵である。

投資家は金のドル価格を重視し、価格をおおよその数字で分析する傾向がある。それは理にかなっている。

金が 1 オンスあたり 100 ドル上がり、500 オンス所有していれば、50,000 ドルの利益となる。さらに 100 ドル上昇すれば、さらに 5 万ドルの利益となる。それはあなたにとって本当のお金だ。

投資家が気づいていないのは、100 ドルの利益（および 5 万ドルの利益）は、それ以前の利益よりも簡単に得られるようになるということだ。

それぞれの上昇分は一定の 100 ドル単位で測定されるが、その測定はより高いベースから始まる。一定額の増加は、拡大するベースに対する割合が小さいため、パーセンテージで見ると達成しやすい。

例えば、価格が 1 オンスあたり 2,500 ドルから 2,600 ドルになれば、4% の利益だ。しかし、価格が 1 オンスあたり 2,900 ドルから 3,000 ドルになれば（同じ 100 ドルの上昇）、それは 3.5% の上

昇だ。明らかに、3.5%の利益は 4.0%の利益よりも獲得しやすいが、同じ 100 ドルの利益であり、5 万ドルの利益があなたのポケットに入る。

このダイナミズムは、1,000 ドルの価格上昇で見ればさらに劇的だ。(つまり、500 オンスを所有していれば 50 万ドルの利益となる)。価格が 1 オンスあたり 2,000 ドルから 3,000 ドルに動くと、50%の利益となる。

しかし、価格がオンスあたり 9,000 ドルから 10,000 ドルに動いた場合、それは 11%の上昇にすぎない。同じ 1 オンスあたり 1000 ドルの利益、同じ 50 万ドルの利益でも、50%に比べれば 11%動くハードルははるかに容易だ。

計算は明らかだが、心理はそうではない。そして、投資家の心理こそが、多くの投資家が想像するよりも早く、金価格をはるかに高い水準に押し上げるエンジンである。

以下では、金が爆上げの態勢にある理由を紹介する。

金は発射台に

金が貨幣資産としてまともに扱われたのは 1970 年代半ばが最後だった。個人投資家が金投資に意欲的になったのは 1980 年代前半が最後である。金は 1980 年 1 月に 800 ドルをつけた。これは当時の史上最高値だった。1981 年から 1999 年まで金は横ばいから下落し、20 年にわたる弱気相場の末、1999 年に 1 オンスあたり 250 ドルを記録した。

そこから金は 2011 年 8 月に 1 オンスあたり 1,900 ドルの最高値を更新し、12 年間で 670%の上昇となった。その後、金は 2 度目の弱気相場に陥り、2015 年 12 月に 1 オンスあたり 850 ドル下落し 1,050 ドルになった。2011 年の高値から 45%の暴落である。

1999 年の安値 250 ドルを基準として扱うと、2011 年から 2015 年の暴落は実に 51.5%だった： $(850 / 1650 = 51.5\%)$ この計算は重要だ。史上最高のコモディティ・トレーダーであるジム・ロジャーズは、どんなコモディティも途中で 50%の調整がなければ月に行くことはないと言った。金は 2015 年に 50%の調整を経験した。今は月へ向かっている。

重要なのは、2 度の強気相場（1971-1980 年、1999-2011 年）と 2 度の弱気相場（1981-1999 年、2011-2015 年）にもかかわらず、金投資は 2000 年代初めの住宅市場や今日の株式のように大衆の想像力をかき立てることはなかったということだ。

個人投資家は市場に出たり入ったりしているが、2000 年代前半からの投資家はかなりうまくいっている。ヘッジファンドはモメンタムを取引するが、最初の上昇で売却する。彼らは金を大豆や石油と同じように考えているわけではない。単なる取引なのだ。

金市場における機関投資家の足跡はほとんどない。投資の観点からは、金はみなしご資産であり、少数の支持者はいるが、多くの支持者はいない。しかし、その状況は大きく変わろうとしている。その理由がここにある：

金の急騰の最初の鍵は、中央銀行の役割である。個人投資家や機関投資家は金にそれほど関心がないかもしれないが、中央銀行は間違いなく関心を持っている。近年、中央銀行の金保有量は 33,000 トンから 37,000 トン以上に急増し、12.0%の増加となっている。

この増加はロシアと中国の 2 カ国に集中している。ロシアの金準備は、2008 年の 600 トンから現在 2,335 トンに増加し、2008 年のベースから 1,735 トン、ほぼ 200%の増加となっている。

中国も 2008 年には約 600 トンを保有していたが、現在は 2,264 トンと 275%増加している。(中国が未公開の金準備を保有していると結論付けるには十分な理由がある)

Rank	Country	Tonnes
1	 United States	8,133
2	 Germany	3,351
3	 Italy	2,452
4	 France	2,437
5	 Russia	2,336
6	 China	2,264
7	 Switzerland	1,040
8	 Japan	846
9	 India	831
10	 Netherlands	612

Source: TalkMarkets

金の上位保有国ビッグ 10 には、アメリカ、ドイツ、イタリア、フランス、スイス、そして日本という、いつもの顔ぶれが含まれている。しかし、このリストにはロシア、中国、インドといった新顔も含まれている。

その他の重要な国々は、世界のゴールド・クラブの地位を争っている。2024 年第 2 四半期（入手

可能な最新のデータ) には、ポーランドが 18.7 トン、インドが 18.7 トン、トルコが 14.7 トン、ウズベキスタンが 7.5 トン、チェコが 5.89 トンを追加した。

金が貨幣資産でないとすれば、なぜ大量の金を保有し、金準備を急速に増やしているのか？ その疑問は自ずと答えが出る。金は貨幣資産だからである。

中央銀行の純買い越しは、年間金鉱生産量の約 20%に相当する。これは金不足を示すものではないが、ドル建て金価格の底を固めることになる。これは非対称取引と呼ばれるものを生み出す。

上値余地は大きい、下値は中央銀行がある程度抑えてくれる。なぜなら中央銀行は金の保有を増やすために落ちたところは必ず買っただろうからだ。これこそ、最高の取引と言えるだろう。

舞台は整った。一定のドル上昇に対して、パーセント上昇を容易にするという単純な計算が、買いの熱狂を引き起こし、金のドル価格の超高騰につながるダイナミックな動きなのだ。中央銀行の買いは、ドル建て金価格を容赦なく上昇させ、下落局面では買いを入れるため、下値は限定的となる。スーパースパイクを引き起こすために必要なのは、まだ織り込まれていない予想外の展開である。

今、それが起きている。BRICS は先週、ロシア連邦のカザンで会合を開いた。 BRICS 会議には持ち回りの議長国があり、今年プーチンが議長を務めている。世界は BRICS の新通貨の発表を待っている。それはいずれ実現するかもしれないが、まだだ。新通貨は 10 年先になるかもしれない。

その代わりにプーチンと BRICS が発表したのは、BRICS 加盟国の既存通貨を使った貿易決済を記録する、ブロックチェーンベースの新しいデジタル台帳だった。このシステム（仮称「BRICS クリア」）の意義は、ドルが介在せず、決済経路が米国や EU の制裁から比較的安全な決済経路になっていることだ。

ロシアは中国に石油をルーブルで売り、ブラジルは中国に航空機をレアルで売り、インドは中国に技術をルピーで売る、といった具合だ。(あるいは、どの BRICS 加盟国も他の BRICS 加盟国の通貨を選ぶことができ、すべて BRICS クリアに記録される)

支払いはグロス・ベースではなくネット・ベースで決済できる。これは例えば、ロシアと中国が商品取引し、支払いを記録できることを意味する。元帳には「どこからの支払いか」と「どこへの支払いか」が存在する。

これらの取引は、ネットの金額だけを交換することで処理することができる。また、これはリアルタイムで行う必要はなく、月ごとや四半期ごとに行うこともできる。これにより、支払いとメッセージのトラフィックが大幅に削減される。

各国の中央銀行や商業銀行は、BRICS クリア台帳からの支払を帳簿に記録しながら、現地の売り手に現地通貨で支払いを行うことができる。

このシステムはうまく機能することもあるが、単一通貨システムに比べて 2 つの問題が未解決のまま残される。ひとつは、為替レートの安定性である。もうひとつは、ある通貨を、その通貨の用途が限定される可能性のある一方の当事者が過剰に蓄積してしまうことである。

為替リスクを取りたくないのであれば、取引相手の通貨残高を使って金を買えばいい。また、口座にある通貨の残高が多すぎる場合は、金を買うことで残高を減らすことができる。

このことの意味は、まだ市場価格には浸透していない。これは、固定為替レートのない非公式な金本位制に等しい。市場原理（今のところほとんどが米ドル建て）に依存し、中央銀行にある自由に兌換可能な膨大な金準備には依存しない。

それでも、これは機能する。古典的な金本位制のような厳しさはなく、金を新しい国際通貨システムのアンカーとして位置づけているのだ。

これで絵は完成した。金は中央銀行の買いによって上昇基調にある。BRICS は米ドルの代わりに金現物をアンカーとして使うだろうから、金はさらに上昇する。そして、ドルの大幅上昇が日常化すれば、投資家心理が超高騰を引き起こすだろう。

火薬庫と化した BRICS がマッチを打ったのだ。日常的に取引をおこなっている投資家にとって最も賢い行動は、本当に楽しいことが始まる前に金を買うことだ。

インフレ時代に投資したい金融資産の候補は？

著名投資家のポール・チューダー・ジョーンズ氏は 10 月 22 日、米 CNBC の番組に出演し、米国の政府支出の増加と減税の見通しから、FRB が目標としている 2%（現在：2.4%ほど）の達成は劇的な政策変更がない限りは事実上不可能だと指摘、米国はインフレを起こし、債務負担を成長で乗り越える必要があると述べた。

ジョーンズ氏は、「（米国は）支出問題に真剣に取り組まない限り、すぐに破産するだろう」と述べるとともに、「すべての道はインフレに通じる」として、ビットコイン（BTC）と金を含むコモディティをロング、ナスダックのバスケットを保有する一方、利回りのある金融商品からは離れるよう推奨した。

ジョーンズ氏が指摘するように、投資家がインフレ対策としてビットコインを投資ポートフォリオに取り入

れようとする動きがまだ小さな波ではあるものの、確実に世界に広まりつつある。

10月29日、米フロリダ州のジミー・パトロニス CFO（最高財務責任者）は通貨インフレのヘッジとして、また中央銀行デジタル通貨に対する防壁として、州管理委員会にビットコイン投資を検討するよう要請した。パトロニス氏は約 2050 億ドルの運用資産を持つフロリダ州の年金基金を監督する責任者の一人である。

書簡によるとパトロニス氏は、州職員の購買力を維持するために利益を最大化する責任を強調、「ビットコインはデジタルゴールドと呼ばれており、州のポートフォリオの分散化と主要資産クラスのボラティリティに対するヘッジとして機能するだろう」と述べた。また、すでにビットコインや他のデジタル資産への投資を検討している州があることにも触れた。

持続不可能なまでに増え続ける負債、そして崩壊しつつある軍事力は、帝国の終焉を招く完璧なレシピである。そして、まさに今、米国が置かれている状況だ。繁栄する帝国には非常に強力で効率的な経済、堅実な通貨、そして管理された一定レベルの負債が必要となる。しかし、米国には今、こうした条件が備わっていない。

われわれは負債とインフレが超指数関数的に増加する時代の始まりに立っている。指数関数的に増え続ける現在の負債を推定すると、2036年には米国の連邦負債は 100 兆ドルに達すると見られる。100 兆ドルの負債は、高いインフレとデフォルトのリスクを意味し、はるかに高い金利につながる。3～4%の利回りでは誰もリスクの高い米国債を保有しようとはしないだろう。

今年3月、世界最大の公的年金基金である日本の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が運用資産の一部をビットコインに配分することを検討していることを明らかにした。

GPIF は「経済や社会の大きな変動、急速な技術の進展に対応し、長期的な視野から基本ポートフォリオに係る理論と革新的な運用戦略を調査研究するため」と説明、具体例としてゴールドや農地、森林、そしてビットコインを挙げた。

一方、今年8月には韓国の公的年金である国民年金公団が米ナスダック市場に上場する米マイクロストラテジー（MSTR）の株式を約 3400 万ドル購入していたことが明らかになった。国民年金公団は韓国最大の投資主体で、2月末時点の総資産は 7770 億ドルを超える。マイクロストラテジーへの投資はビットコインへの代替的な手段とされている。

ビットコインは最終的に 100 兆ドル規模の資産クラスになる！？

マイクロストラテジーは、ビジネス上の意思決定を行うために社内外のデータを分析するソフトウェアやモバイルソフトウェア、クラウドベースのサービスを提供する企業だ。現在、会長を務めるマイケル・J・セイラー氏らによって 1989 年に設立された。主な競合企業には、独の SAP や米 IBM (IBM)、オラクル (ORCL) などが挙げられる。

● 上場企業のビットコイン保有ランキング

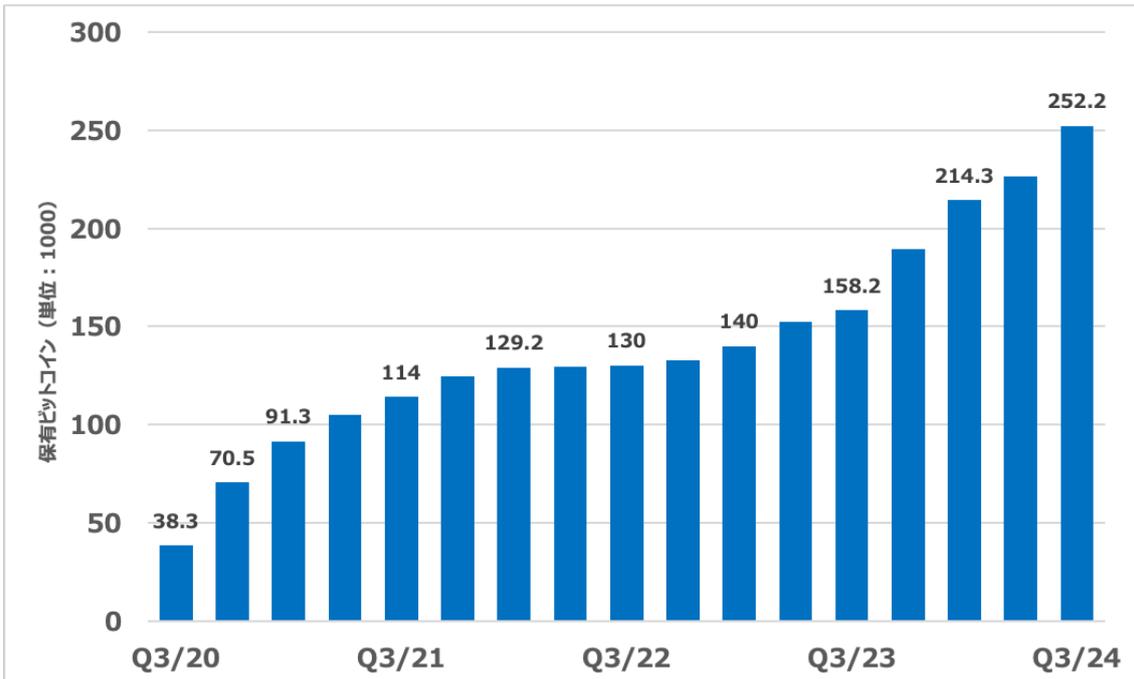
	企業名	ティッカー	保有ビットコイン	時価評価額 (11月4日時点)	流通量全体 に対する保有割合
1	MicroStrategy Inc.	MSTR	252,220	\$17,350,175,380	1.20%
2	Marathon Digital Holdings	MARA	26,842	\$1,846,457,091	0.13%
3	Galaxy Digital Holdings	GLXY	15,449	\$1,062,798,331	0.07%
4	Tesla, Inc.	TSLA	11,509	\$791,702,357	0.06%
5	Coinbase Global, Inc	COIN	9,183	\$631,697,171	0.04%
6	Hut 8 Mining Corp	HUT	9,102	\$626,125,194	0.04%
7	Riot Platforms, Inc	RIOT	8,490	\$584,025,807	0.04%
8	Block Inc.	SQ	8,038	\$552,932,796	0.04%
9	CleanSpark Inc.	CLSK	6,154	\$423,332,723	0.03%
10	Hive Digital	HIVE	2,287	\$157,322,382	0.01%

出所：コインゲッコーのデータより筆者作成

マイクロストラテジーの株価は年初来で 200%超、5 年前比では約 1400%上昇しており、S&P500 の中でトップのパフォーマンスを示している。その高パフォーマンスの背景にあるのがビットコインだ。

マイクロストラテジーは上場企業の中で、ビットコインを最も多く保有する企業だ。仮想通貨市場の情報を扱うコインゲッコーによると、マイクロストラテジーが保有するビットコインは額にして約 173 億ドル、流通するビットコインの 1.2%を保有している。2 位の企業と比べるとその差は大きい。このように暗号通貨を大量に保有していることから、ビットコインの代替と捉えられている。

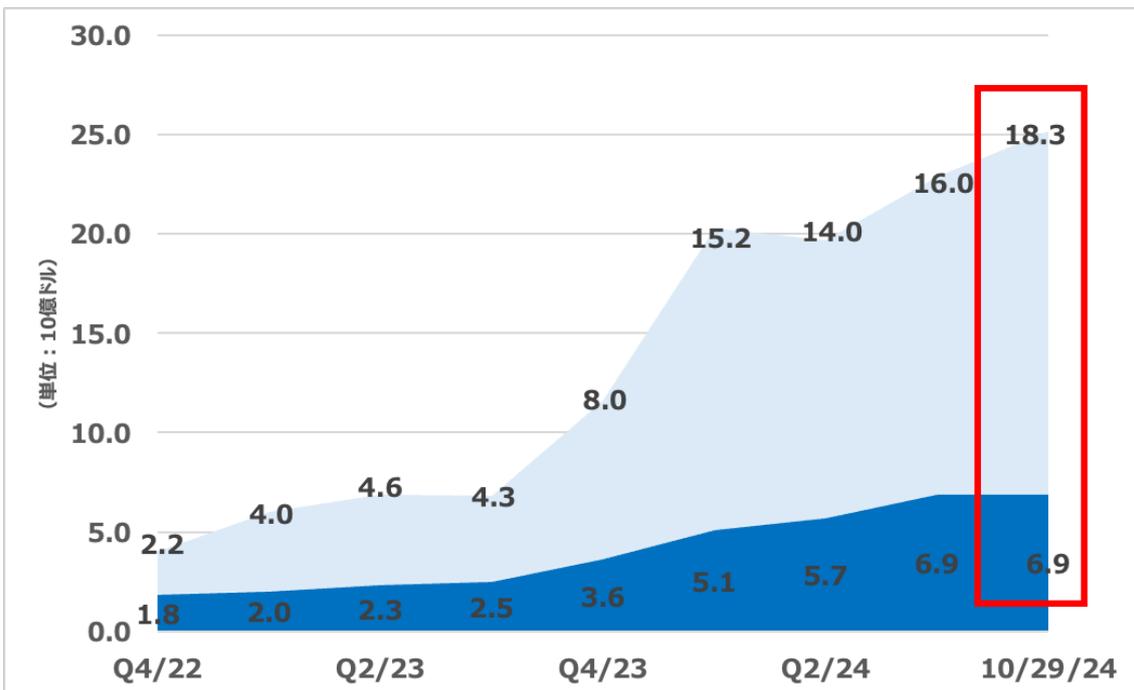
●マイクロストラテジーのビットコイン保有の推移



出所：マイクロストラテジー決算発表資料より筆者作成

マイクロストラテジーがビットコインを購入し始めたのは2020年8月、以来、社債などを発行して資金調達をしつつ、大規模なビットコインの買い入れ戦略を続けてきた。マイクロストラテジーが10月30日発表した2024年9月末時点のビットコイン保有量は25万2200と、取得を開始した当時と比べると6.5倍に拡大している。

● マイクロストラテジーが保有するビットコインの帳簿価格（青）と時価評価額（水色）



出所：マイクロストラテジー決算発表資料より筆者作成

ビットコインの上昇に伴い、直近（10月29日時点）の帳簿価格と時価評価額との差、つまり含み益は114億ドルに達している。11月2日のモトリーフールの記事「Up 264%, Is MicroStrategy On Track to Become the First \$1 Trillion Crypto Stock? (264%の上昇、マイクロストラテジーはクリプト株として初の1兆ドル企業になるか?)」によると、セラー氏はビットコインが最終的には100兆ドル規模の資産クラスになるだろうと見ていると指摘している。

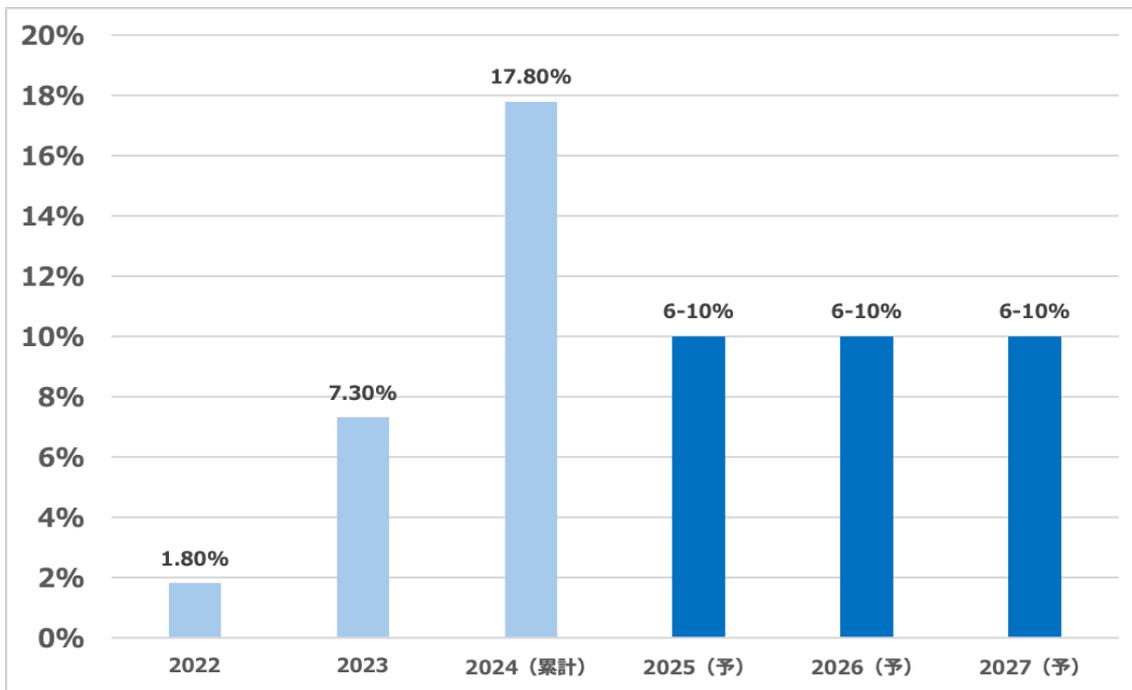
ビットコイン保有は企業の新たな評価軸となるか？

そのマイクロストラテジーは10月30日、さらなるビットコインの購入のため、今後3年間で210億ドル（約3兆1500億円）の株式発行と210億ドルの債券発行によって420億ドルを調達する計画「21/21プラン」を発表した。セラー氏は「最終的な目標は、ビットコイン銀行、あるいは投資銀行、あるいはビットコイン金融会社となることだ」と語った。

マイクロストラテジーは発行済株式数に対するビットコイン保有高を示す独自のパフォーマンス指標である「ビットコイン・イールド」を公表している。株主にとって有益な形でビットコインを購入する能力を示す主要業績評価指標（KPI）として公表している。2024年9月末時点の「ビットコイン・イールド」は17.8%だった。今後2025年以降の目標範囲については、従来の4-8%から6-10%に引き

上げた。

●マイクロストラテジーのビットコイン・イールド



出所：マイクロストラテジー決算発表資料より筆者作成

インフレが高止まりするなか、企業が代替資産としてビットコインを保有する動きが広がってきている。一方で投資家は、企業がビットコインを保有する戦略を株式市場における新たな評価軸として認識し始めている。9月18日、YouTube 動画に登場したセイラー氏は、「ビットコインが価値の保存手段として機能する可能性がある」と語った。株式市場に上場する企業の株式を保有するという伝統的な金融市場の枠組みにおいて、仮想通貨市場への間接的なエクスポージャーを得ることができる。

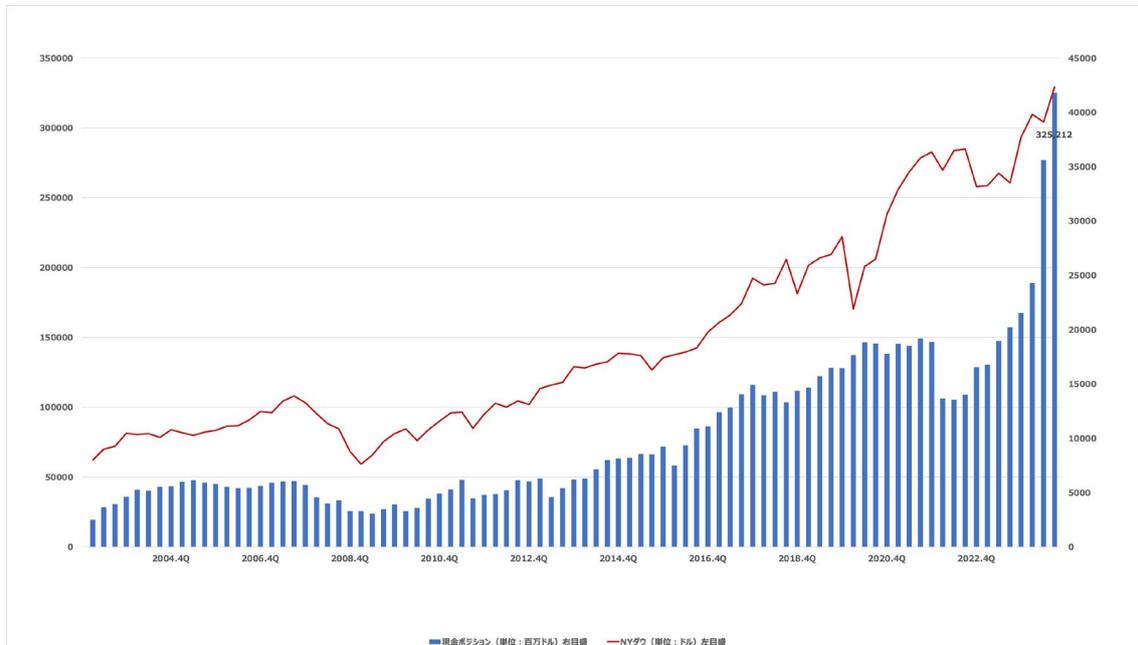
バフェットは小国の GDP に相当する額のアップル株を売却した

手元資金が過去最高の 50 兆円に、「総資産」に占める割合は 25%

著名投資家ウォーレン・バフェット率いる米投資会社バークシャー・ハザウェイ（BRKB）が 2 日、2024 年 7-9 月期の四半期報告書を発表した。バークシャーが保有する手元現金（現預金と米短期債の保有額を合計した額）は 9 月末時点で 3252 億ドルと過去最高を更新した。6 月末時点の 2769 億ドルと比べ 2 割弱の増加、一年前（2023 年 9 月末）比では倍増となった。

1ドル153円で日本円に換算すると49兆7556億円となり、50兆円に迫る水準だ。企業の時価総額に当てはめると、ネットフリックス（NFLX：3232億ドル）やコカ・コーラ（KO：2800億ドル）、セールスフォース（CRM：2817億ドル）を上回る規模となっている。

● バークシャー・ハザウェイの手元現金残高と NY ダウの推移

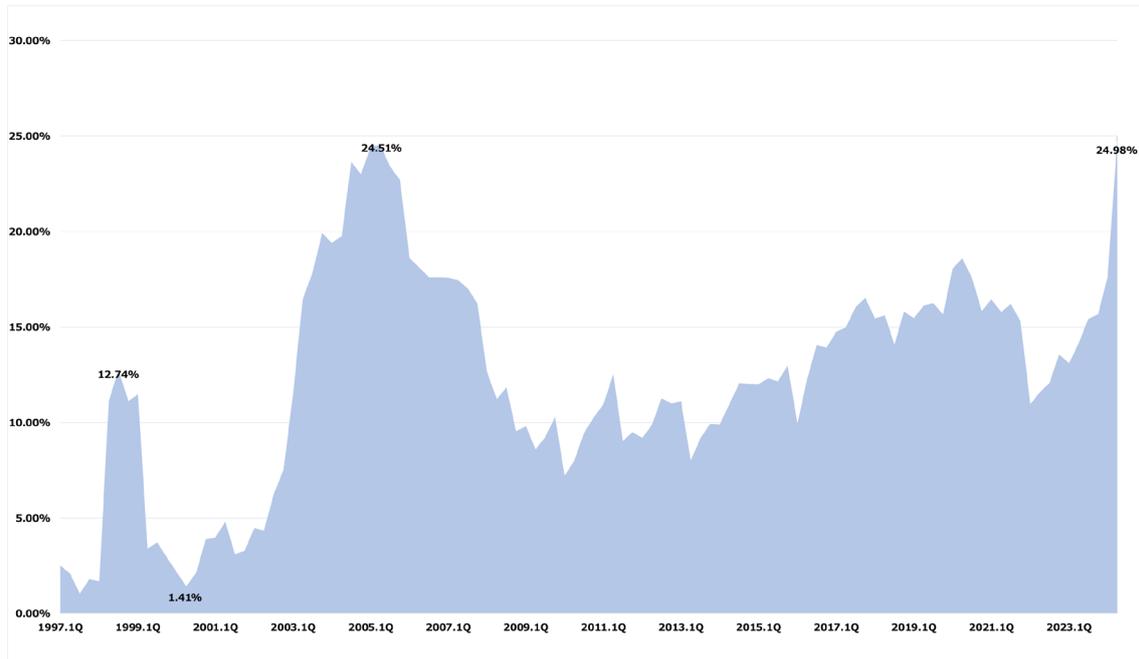


出所：各種データより筆者作成

今年5月に開催されたバークシャーの年次株主総会においてハフエットは、「（現金を）使いたいのはやまやまだが、リスクがほとんどなく、私たちに大きな利益をもたらしてくれると思わなければ、使うことはないだろう」と述べていた。9月末時点でのバークシャーの総資産に占める現金ポジションの割合は、これまで最も高かった2005年第2四半期末時点を上回り、ほぼ25%となった。

米国経済は2000年のITバブル崩壊を経て、2003年以降、本格的な回復局面へ移行した。FRB（米連邦準備制度理事会）は2003年6月に利下げを打ち止めし、2004年6月から利上げを始めた局面であった。この過程においてバークシャーは現金ポジションを積み上げていた。金融政策の変化に対して機敏な対応をとっていたことが伺える。

●バークシャー・ハザウェイの総資産に占める現金ポジションの割合
(2024年にキャッシュポジションは94%増加した)



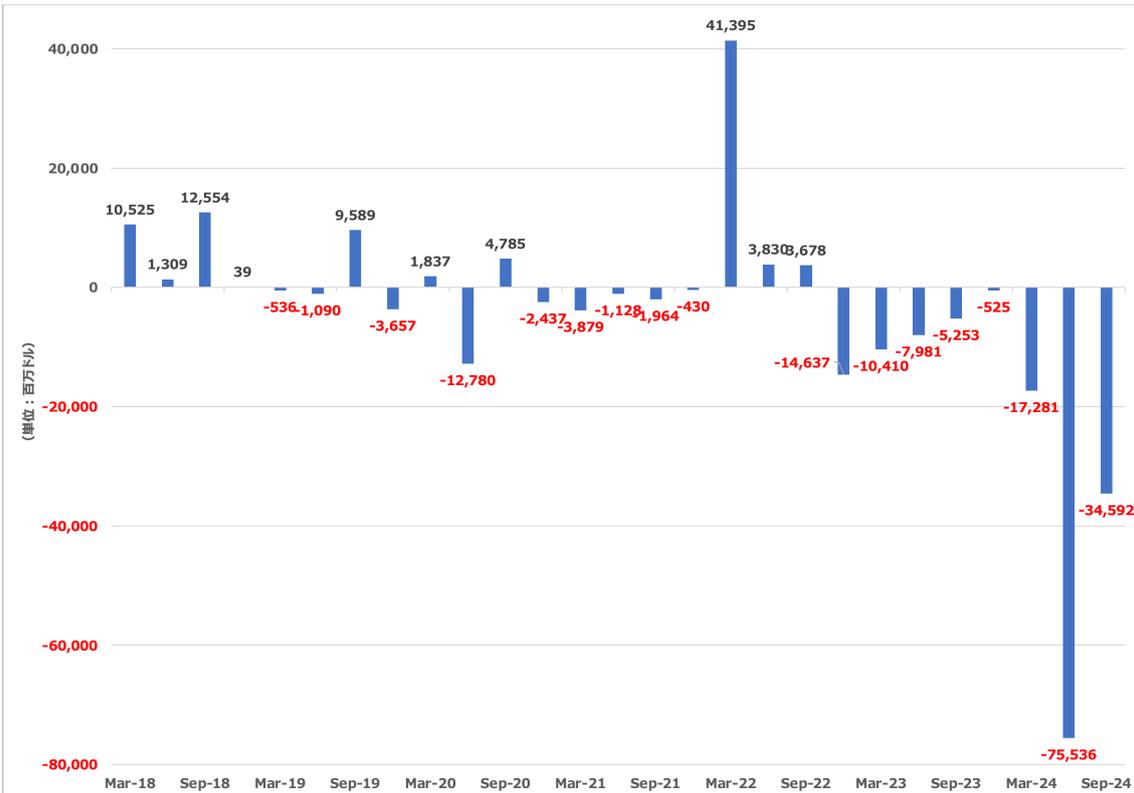
出所：決算資料より筆者作成

なお、四半期報告で開示された7-9月期の最終損益は262億ドルの黒字（前年同期は127億ドルの赤字）だった。米国会計基準では保有株式の評価損益を最終損益に反映する必要がある。決算発表資料によると、9月末時点のバークシャーの株式ポートフォリオは2716億ドルだ。このことから、バークシャーの最終損益は株価変動により大きくぶれる傾向にある。なお、投資評価損益などを除く営業利益は前年同期比6%減の100億ドルだった。

3ヶ月か6ヶ月か、それが唯一の問題だ

バークシャーの手元現金が急速に増加している理由は単純だ。保有する株式の圧縮を進めているためである。第3四半期にバークシャーは差し引き346億ドルの株式を売り越した。4-6月期（755億ドルの売り越し）から額は半減したものの、8四半期連続の売り越しとなる。その大半はアップル（AAPL）とバンク・オブ・アメリカ（BAC）の売却によるものだ。

● バークシャーの株式売買の推移



出所：決算資料より筆者作成

バークシャーの決算発表資料によると、9月末時点の株式投資残高は2716億5000万ドル。全体のうち7割がアップル、バンク・オブ・アメリカ、アメックス（AXP）、コカ・コーラ（KO）、シェブロン（CVX）の5銘柄によって占められている。5銘柄の9月末時点の保有残高は以下の通りである。

アップル：699億ドル

アメックス：411億ドル

バンク・オブ・アメリカ：317億ドル

コカ・コーラ：287億ドル

シェブロン：175億ドル

● 2024 年 9 月末時点のバークシャー・ハザウェイによる株式投資

Note 5. Investments in equity securities

Investments in equity securities are summarized as follows (in millions).

	Cost Basis	Net Unrealized Gains	Fair Value
September 30, 2024*			
Banks, insurance and finance	\$ 21,165	\$ 71,383	\$ 92,548
Consumer products	11,341	90,651	101,992
Commercial, industrial and other	45,606	31,504	77,110
	<u>\$ 78,112</u>	<u>\$ 193,538</u>	<u>\$ 271,650</u>

* Approximately 70% of the aggregate fair value was concentrated in five companies (American Express Company – \$41.1 billion; Apple Inc. – \$69.9 billion; Bank of America Corporation – \$31.7 billion; The Coca-Cola Company – \$28.7 billion and Chevron Corporation – \$17.5 billion).

出所：バークシャーの決算発表資料

11 月 2 日の日本経済新聞の記事「バフェット氏、Apple 株 25%追加売却 手元資金 50 兆円に」は次のように報じている。

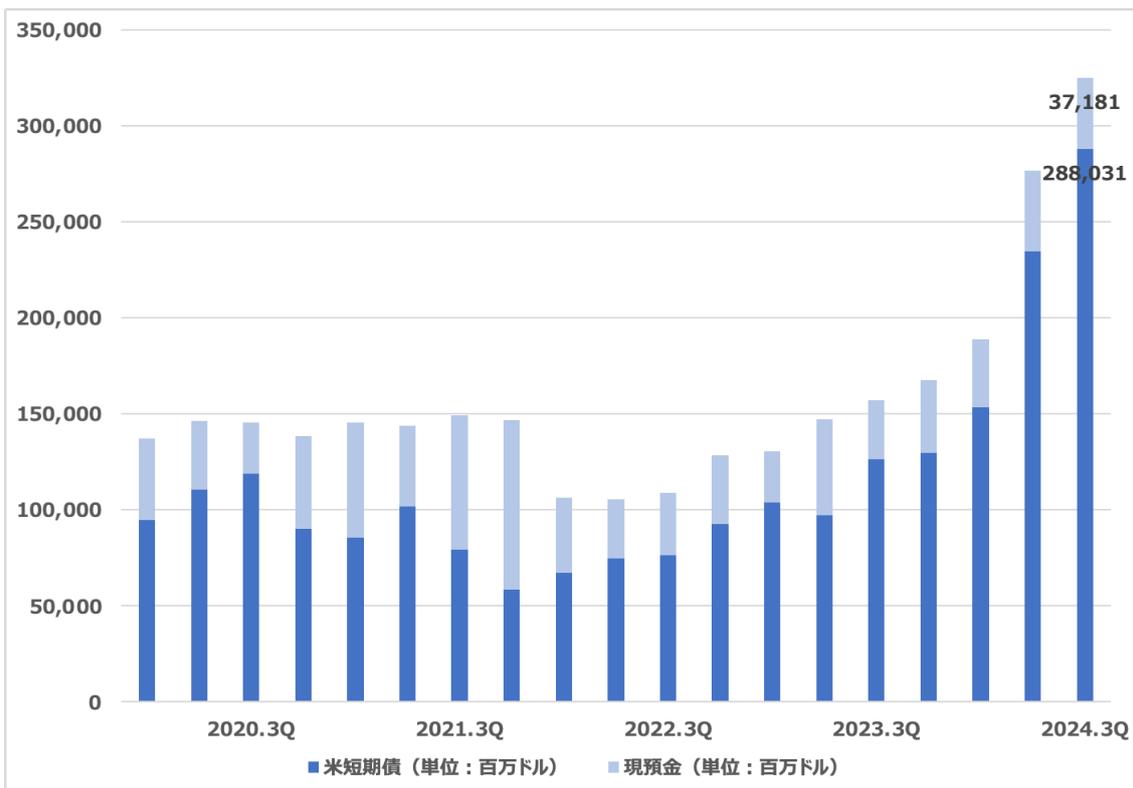
「バークシャーが 2 日発表した 7～9 月期の四半期報告書は、9 月末のアップル株保有時価は 699 億ドルで、6 月末時点から 17%減ったと開示した。7～9 月期にアップルの株価は 11%上昇していたことを考慮すると、期中に保有株の約 25%を売却した計算だ」

バークシャーは 4 四半期連続でアップル株を売却している。9 月末時点で保有するアップル株（699 億ドル）は、3ヶ月前の 6 月末（842 億ドル）から 4 分の 1 に、3 月末時点（1354 億ドル）からは 62%減、さらに 2023 年 12 月末（1743 億ドル）から 70%減となる。

バンク・オブ・アメリカ株については今年夏から断続的に売却を進めている。世界金融危機後の 2011 年、バークシャーは 50 億ドルの優先株を購入し、バンク・オブ・アメリカ株への投資をスタートした。以降、保有を積み増し、バンク・オブ・アメリカ株はバークシャーにとってアップルに次ぐ保有上位銘柄であったが、今回の売却を経てアメリカン・エキスプレスに次ぐ第 3 位保有株となった。

なお、アメリカン・エキスプレス、コカ・コーラ、シェブロンについては第 3 四半期にはほとんど手つかずのままであったと推測されるため、バフェットは明確な意図を持ってアップルとバンク・オブ・アメリカを売却していることが分かる。バフェットは「我々の事業の大部分は、今年は昨年より低い収益を報告するだろう」と語り、米国経済の「信じられないような時期」が終わりつつあると述べていた。

●バークシャーの株式売上の推移



出所：決算資料より筆者作成

注目すべきは、その積み上がった現金ポジションの内訳だ。全体のうち現預金の割合が 11%であるのに対し、89%を短期債で運用している。バフェットは以前、米国債の購入について唯一の問題は、「3カ月物の財務省短期証券で買うか6カ月物で買うかだ」と語っていた。将来起こりうる市場の混乱に備え、可能な限り短期国債で運用する方針なのだろう。

バフェットが「米国株を買え」と大声で呼びかけた 2008 年 10 月とは異なり、今回はかつてないペースで米国株を売っている。バフェットは小国の GDP に相当する額のアップル株を売却した。これは、彼が株のバリュエーションと世界経済をどうみているかを示す明確なシグナルである。

バークシャーは巨額の資金と確実なパフォーマンスで、市場の混乱や発作に即座に対応する手段を完備している。いつの時代もそうであるように、行き過ぎた株価の戻りは起こるものだ。そのような混乱が起きたとき、バフェットには現金を利用する準備が整っている。なお、9 月末時点の詳しい上場株式の保有状況については今月中旬に予定されているフォーム 13F の公開を待ちたい。

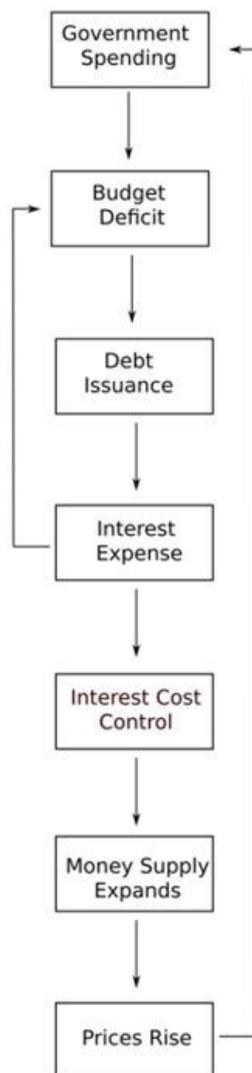
ドルは崩壊するのか？無視できない7つの重要指標

Is The Dollar Collapsing? 7 Key Indicators You Can't Ignore

<https://www.zerohedge.com/markets/dollar-collapsing-7-key-indicators-you-cant-ignore>

以下の図にあるように、米国政府が自己増殖的な債務スパイラルに陥っていく中で、米ドルの崩壊という結末を迎えるであろう注目すべき7つの重要指標がある。

The Debt Spiral and Currency Debasement

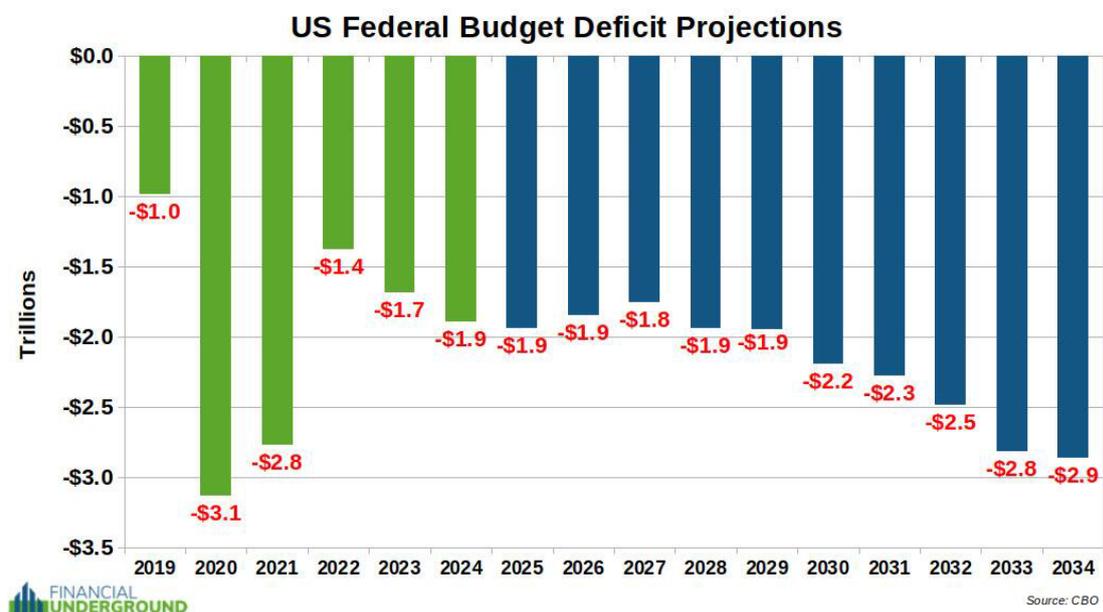


指標その 1：連邦財政赤字

下図は、連邦財政赤字の実績と予測を示している。

この予測には、戦争や不況など、連邦政府支出を増やすような出来事が起こらないという馬鹿げた前提があることに注意する必要がある。

このバラ色で非現実的な予測でさえ、アメリカ政府は今後 10 年間で 22 兆ドル以上の累積赤字を出す予測されている。



指標 2：連邦債務

連邦債務は 35 兆ドルを超え、GDP の 123%を超えている。

GDP は欠陥統計であることを忘れてはならない。

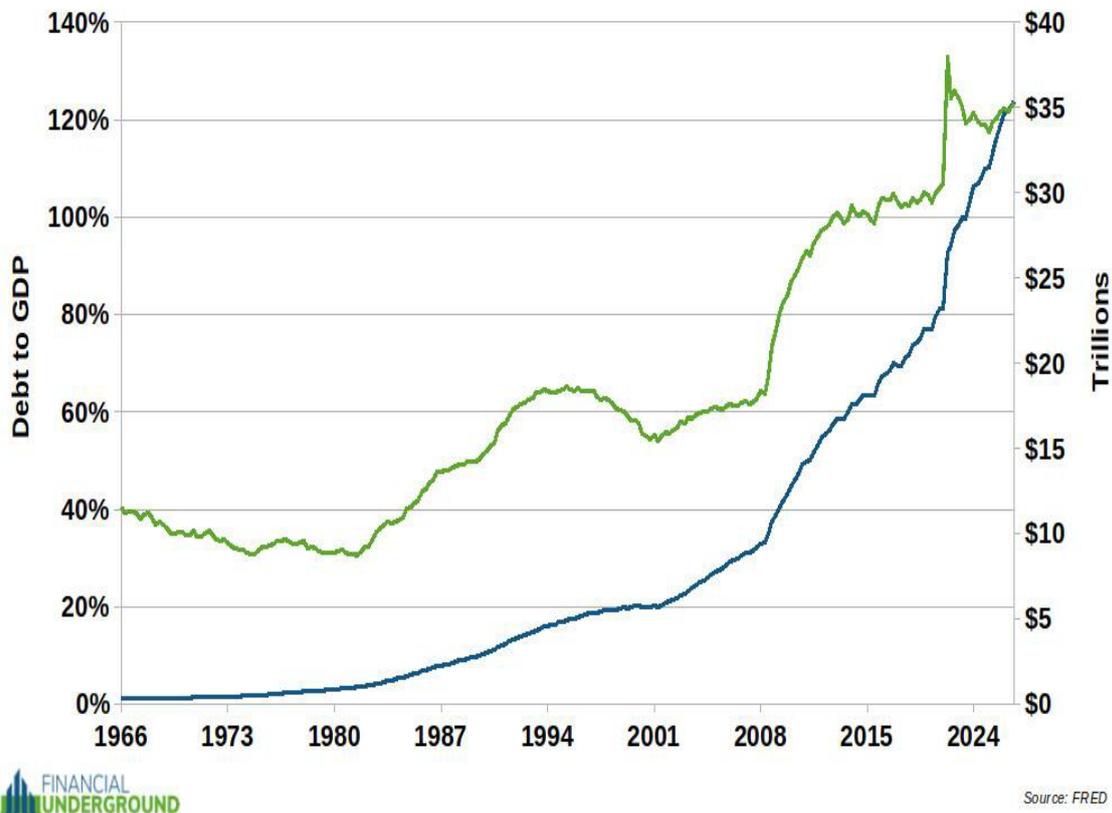
例えば、政府支出をプラスにカウントしている。もっとまっとうな指標であれば、政府支出は債務スパイラルを増幅させ、大きなマイナスとなる。

アメリカでは、政府支出は GDP の少なくとも 37%を占めている。

つまり、債務を支える生産的経済に対する債務の割合は、多くの人が思っているよりもはるかに高いと

ということだ。

US Federal Debt



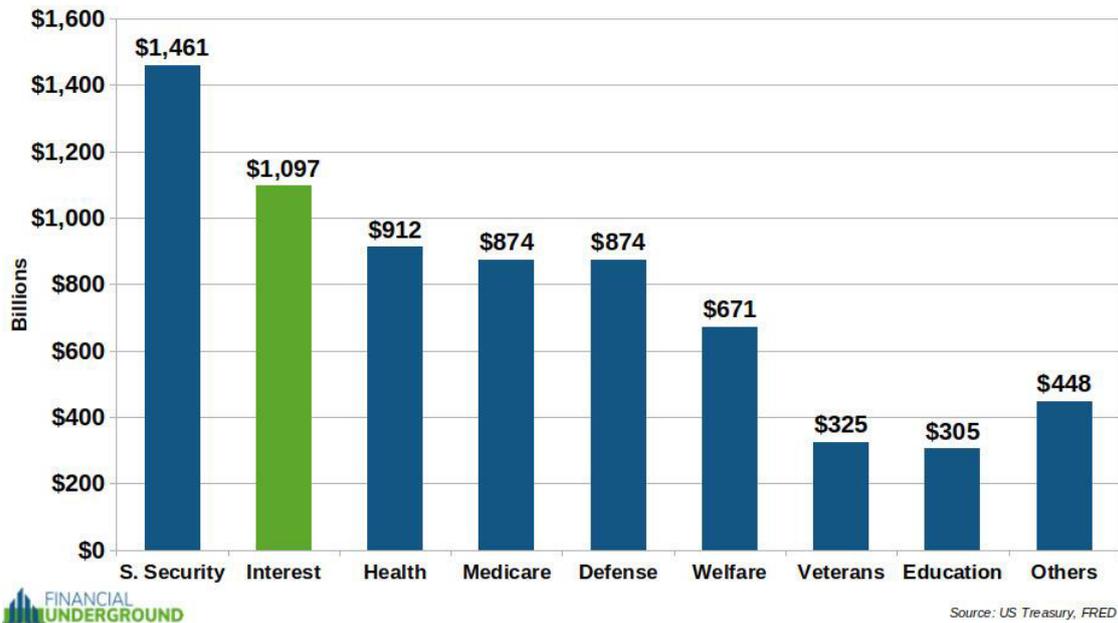
指標 3 : 連邦政府の利払い費

連邦債務の年利は今年初めて 1 兆ドルを超え、さらに上昇している。

連邦債務の利払い費用は、すでにアメリカ政府にとって国防予算よりも大きい第二の支出となっている。

利払い費は社会保障費を上回り、今後数カ月で連邦政府の最大の支出となる。

US Federal Expenditures



指標 4 : フェデラルファンド金利

2008 年の金融危機後、FRB は金利をほぼ 0%にまで低下させ、それを何年も維持した。

その後、2015 年後半から利上げサイクルが始まり、2019 年後半のレポ市場の混乱まで続いた。

2020 年初頭のコロナ禍を経て、FRB は金利を 0%前後に引き下げた。

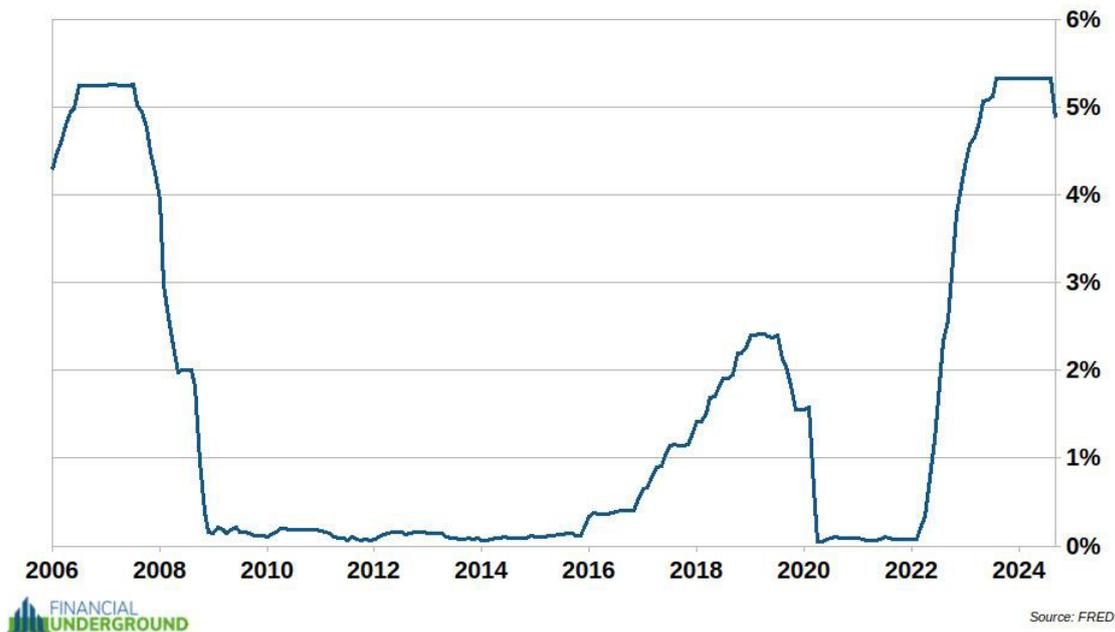
インフレ率はその後 2022 年に 40 年ぶりの高水準に達し、FRB は史上最も急な利上げサイクルを再び余儀なくされた。

わずか 1 年半の間に、FRB は金利を 0%前後から 5%以上に引き上げた。

FRB は今、インフレに打ち勝つことなく金融緩和と利下げに舵を切った。

というのも、利払い費の高騰はアメリカ政府の支払能力を脅かし、FRB は利払い費を抑制するために金利を引き下げ、人為的に低い金利を維持せざるを得ないからだ。

Federal Funds Effective Rate



指標 5 : マネーサプライ

利払い費が高騰すると、FRB は利払い費抑制政策を実施せざるを得なくなる。これには、FRB が無から作り出した資金で国債を買うことや、同様の措置が含まれる。

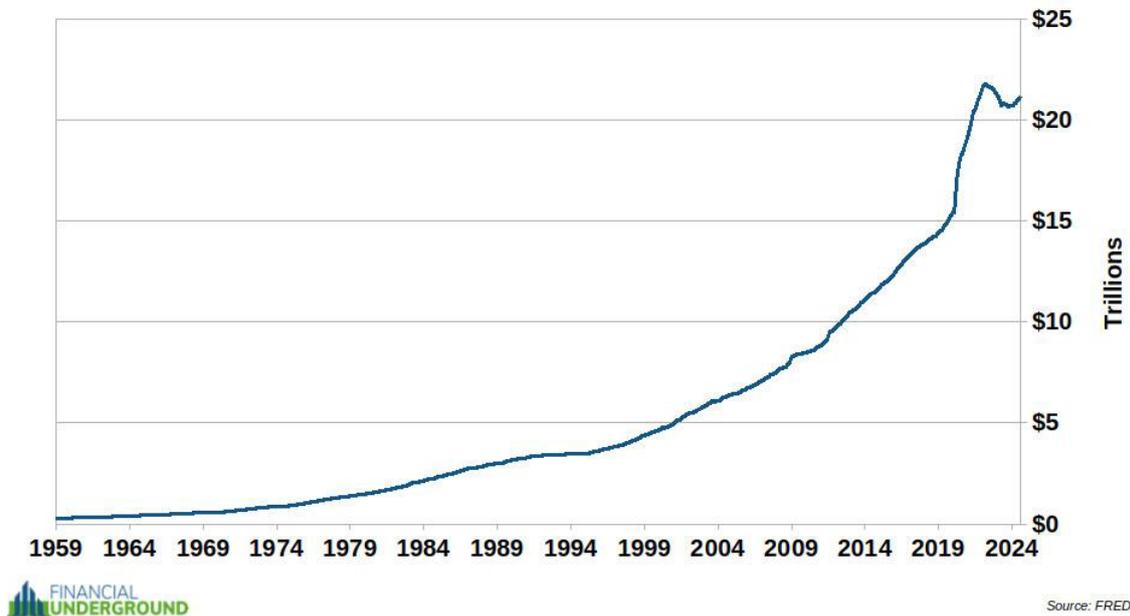
FRB がどう呼ぼうと、金利コストをコントロールしようとする唯一の方法は、マネーサプライを膨張させることだ。

FRB が工具箱に入れているのは、通貨安誘導と相場攪乱の 2 つだけだということを忘れないでほしい。

2020 年以降、アメリカの通貨供給量は 37%も急増した。短期間で信じられないほどの変化だ。

もしあなたの税引き後の資産が 2020 年以降 37%も増えていないのなら、あなたは FRB の金融引き下げについていけないことになる。あなたの足元はぐらついており、奴隷への道を歩んでいるのだ。

US Money Supply (M2)



指標 6 : 消費者物価指数

消費者物価指数 (CPI) は、政府の中で最も政治的に操作された統計である。

多くの政府統計は完全に操作されているが、CPI で測定されるインフレ率はおそらく最も操作されている。

CPI は、3 億 4,000 万人のアメリカ人の平均的な物価変動を測定しようとする価格バスケットである。

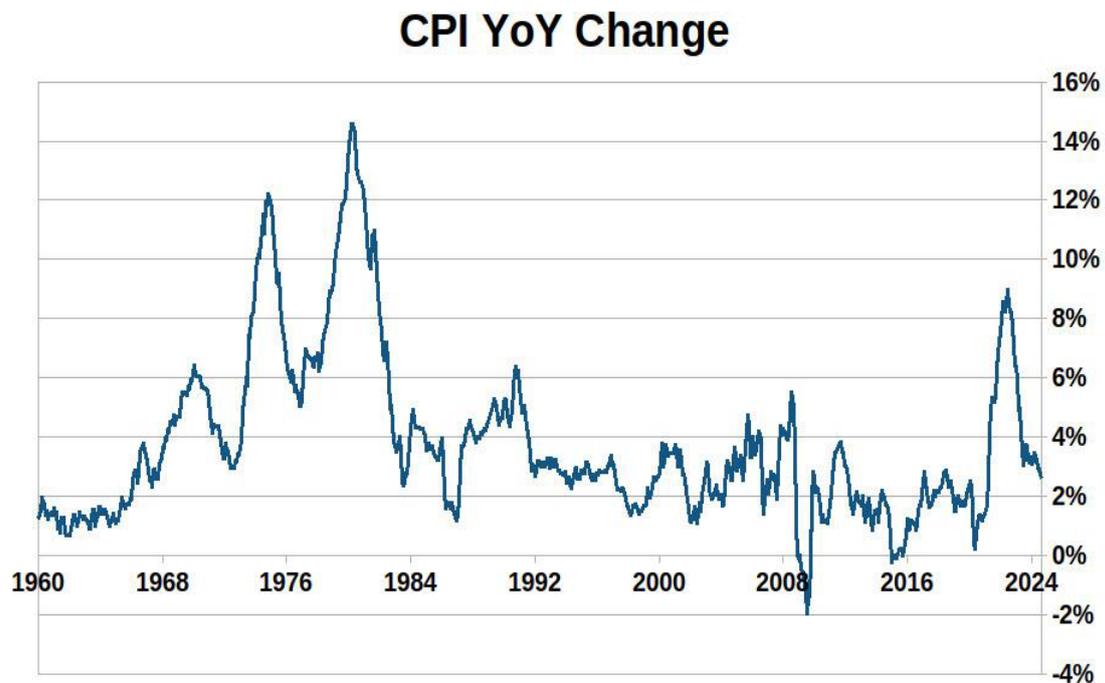
それは不可能なことだ。ニューヨークに住んでいる人とモンタナの田舎に住んでいる人を比べてみよう。両者の価格バスケットはまったく異なる。

3 億 4 千万人の物価上昇の指標として CPI を使うのは、アメリカ 50 州の平均気温を、今日着るべき服を決めるための統計として意味あるものとするよりも、もっとばかげたことだ。

さらに、政府は CPI バスケットに入れる品目とそのウェイトを自由に選ぶことができる。学生に自分の論文を採点させるようなものだ。

要するに、CPI は政府の非道な通貨安を隠すための、誤解を招く政府のプロパガンダなのだ。

とはいえ、CPI に注目することは有益である。インフレ率を計るための指標としてではなく、FRB の行動や相場攪乱を分析するための指標としてだ。



Source: FRED

指標 7：金価格

金は 5,000 年以上もの間、人類にとって最も永続的な貨幣であり、その理由は価値の貯蔵と交換に最も適しているというユニークな特徴にある。

金は耐久性があり、分割可能で、一貫性があり、便利で、希少性があり、そして最も重要なことは、あらゆる現物商品の中で「最も硬い」ということである。

言い換えれば、金は「生産が最も困難」な現物商品であり（既存の備蓄量に比して）、従って、最も値崩れに強い商品なのである。

金は不滅であり、その備蓄は何千年にもわたって蓄積されてきた。これが、通常年間 1～2%の新規金供給の伸びが取るに足らない大きな理由である。

つまり、誰も恣意的に供給量を増やすことはできないのだ。

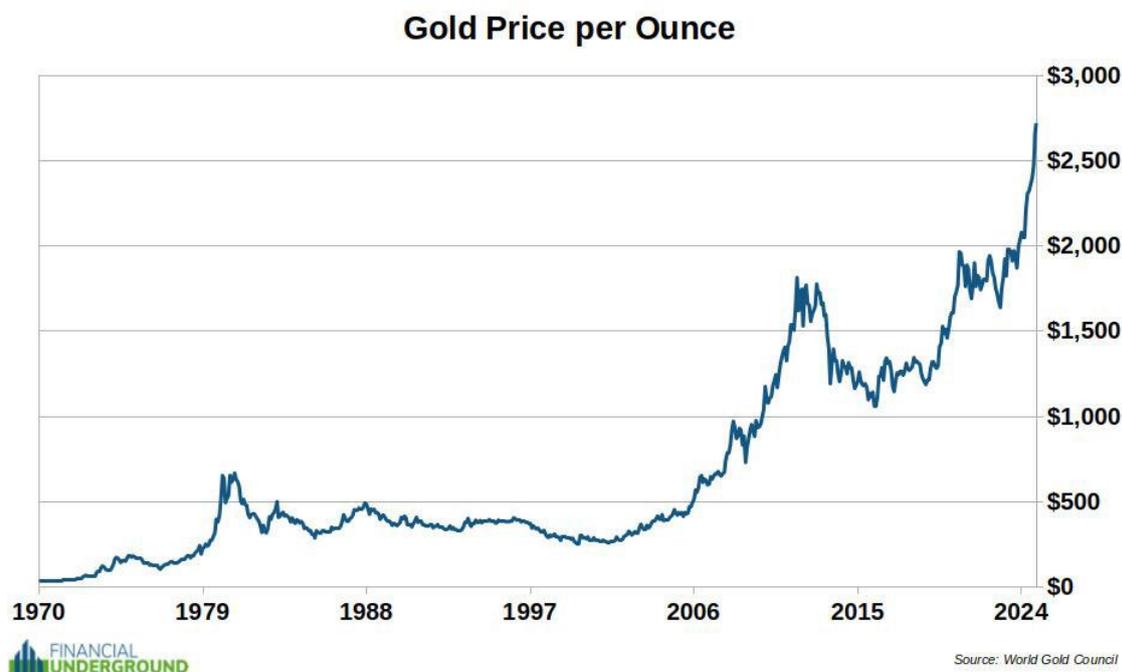
それが金を優れた価値貯蔵品とし、優れた貨幣的特性を与えている。

世界のどの国の人々も金を高く評価している。その価値は政府や取引相手にはまったく依存しない。金は常に本質的に国際的で政治的に中立な資産なのだ。だからこそ、世界中のさまざまな文明が何千年もの間、金を貨幣として使ってきたのである。

歴史的に見れば、不換紙幣を貨幣として使うことは比較的新しい概念である。不換紙幣が衰退するにつれて、人々は世界最高の貨幣である金を再発見することになるだろう。

この傾向はすでに始まっている。

私は、すでに史上最高値を更新している金価格が、この事態の進展とともに急騰すると予想している。



金価格がすでに史上最高値を更新しているのなら、FRB が金融緩和に舵を切り、これまでの景気刺激策よりもさらに通貨を目減りさせる可能性がある今、何が起こるか想像してほしい。

金価格は急騰する可能性があると思う。

このメガトレンドはすでに進行中だが、私は最も大きな利益はまだ先にあると信じている。

現物の金地金を、シンガポール、スイス、ケイマン諸島のような富裕層に優しい司法管轄区にある、ノンバンクの民間金庫に保有するのは良い考えだ。



YouTube「石原順チャンネル」

「石原順チャンネル」が YouTube にできました。

■ YouTube 動画配信「石原順チャンネル」

<https://www.youtube.com/@ishihara-jun>



石原順チャンネル

@ishihara-jun · チャンネル登録者数 1760人 · 4本の動画

毎週火曜日の夜に配信予定 >

YouTubeチャンネル、他3件のリンク

チャンネル登録

石原順の動画はこちらのチャンネルでアップしますのでチャンネル登録よろしくお願いします。

本日の動画は、都合によりお休みさせていただきます。



Copyright(C)2024 Jun Ishihara & Pan Rolling Inc. All rights reserved.

石原順のメガトレンドフォローシグナル』



- 大相場を逃さないトレンドフォロー
- 細かいノイズを排除したドテンシステムを採用
- 損小利大を実現するトレードロジック

DVD『石原順のメガトレンドフォローシグナル』をぜひお試しください。

<https://tradersshop.com/bin/showprod?a=15686&c=9784775965399>

【私たちは必ずしも特定の時期にうまく乗れるわけではない。だが注意深く検討すれば、不確かな世界でも最も理にかなう投資哲学はトレンドフォローだ。トレンドフォローは高値で買ったり安値で空売りする。19年間、私たちは一貫して高値で買い、安値で空売りした。もしトレンドが市場の根本的な性質でなければ、私たちのような取引手法ではたちまち廃業に追い込まれていただろう。しかし、トレンドはこの世の不可欠で根本的な現実だ】(ジョン・W・ヘンリー)

DVD『マーケットナビゲーター』

<https://tradersshop.com/bin/showprod?a=15686&c=9784775965450>

Wizard Seminar DVD Library

石原順の
マーケット
ナビゲーター

Ishihara Jun
講師 石原 順

大相場を
取り逃さない
順張りインジケーター

TradingView
&
メタトレーダー4
MT4対応

DVD VIDEO Wizard DVD

Copyright(C)2024 Jun Ishihara & Pan Rolling Inc. All rights reserved.



technical analysis



Edited by ISHIHARA jun

```

#0      best fitness: 26      avg fitness: 13.250000
fitness: 26      01111111
fitness: 23      11101111
fitness: 18      10101011
fitness: 18      01010111
fitness: 17      10101101
fitness: 16      00010111
fitness: 14      11100101
fitness: 13      10011100
fitness: 13      01100101
fitness: 13      00011010
fitness: 13      10101010
fitness: 13      10101010
fitness: 12      11010001
fitness: 11      11000101
fitness: 14      11101100
fitness: 13      10110001
fitness: 11      00100101
fitness: 13      10111000
fitness: 21      10101111
fitness: 16      00011110

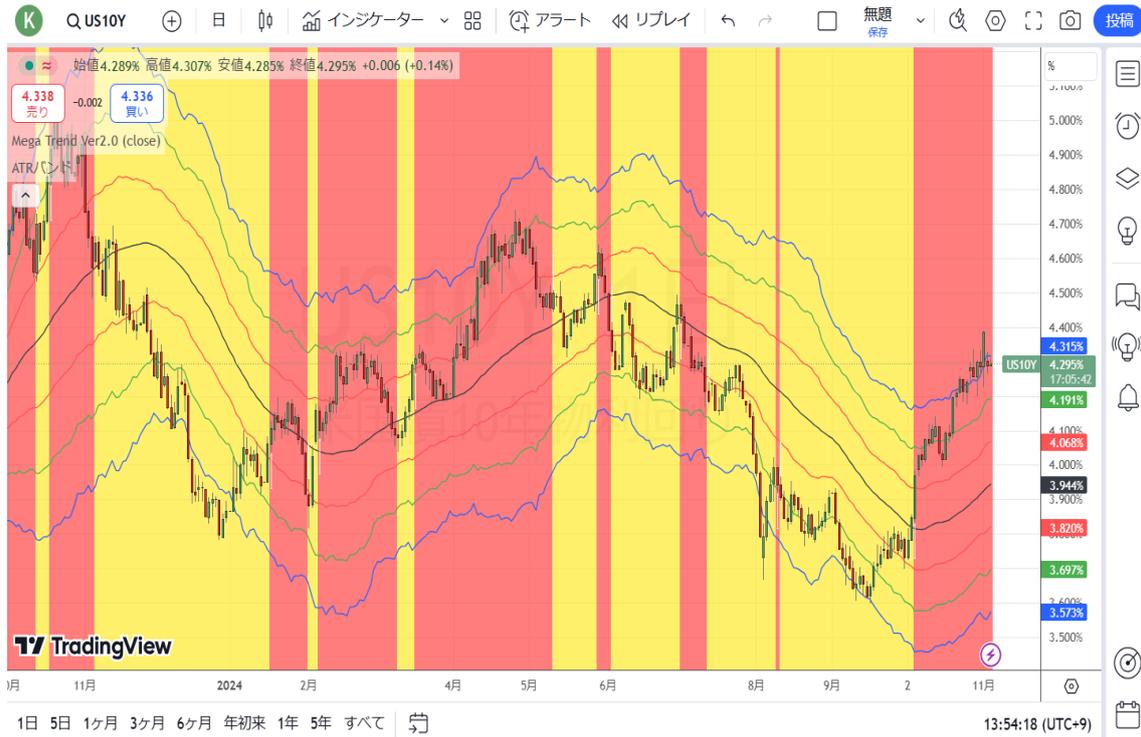
```

Date	Price	Forecasts next day	for future	Volat.	Decision	Position becomes	Gross profit
158926	1837.000	1834.844	1817.686	34.93	-2.481	0	short 1530.0
158927	1857.000	1855.416	1842.798	33.59	-1.883	0	short 1330.0
158928	1913.000	1912.436	1900.292	36.14	-0.578	0	short 770.0
158931	1889.000	1888.178	1881.544	35.84	-0.928	0	short 1010.0
158981	1814.000	1814.169	1799.587	39.37	-2.131	0	short 1740.0
158982	1809.000	1807.297	1793.729	36.28	-1.990	0	short 1810.0
158983	1818.000	1816.649	1805.874	33.57	-1.571	0	short 1720.0
158984	1779.000	1777.234	1763.168	34.53	-2.098	0	short 2110.0
158987	1786.000	1784.563	1773.118	31.85	-1.700	0	short 2040.0
158988	1742.000	1740.888	1724.865	33.63	-2.320	0	short 2480.0

STOP INFORMATION :

Date	Price	Position	Buy 1 if
158988	1742.00	short	1851.00 (up)

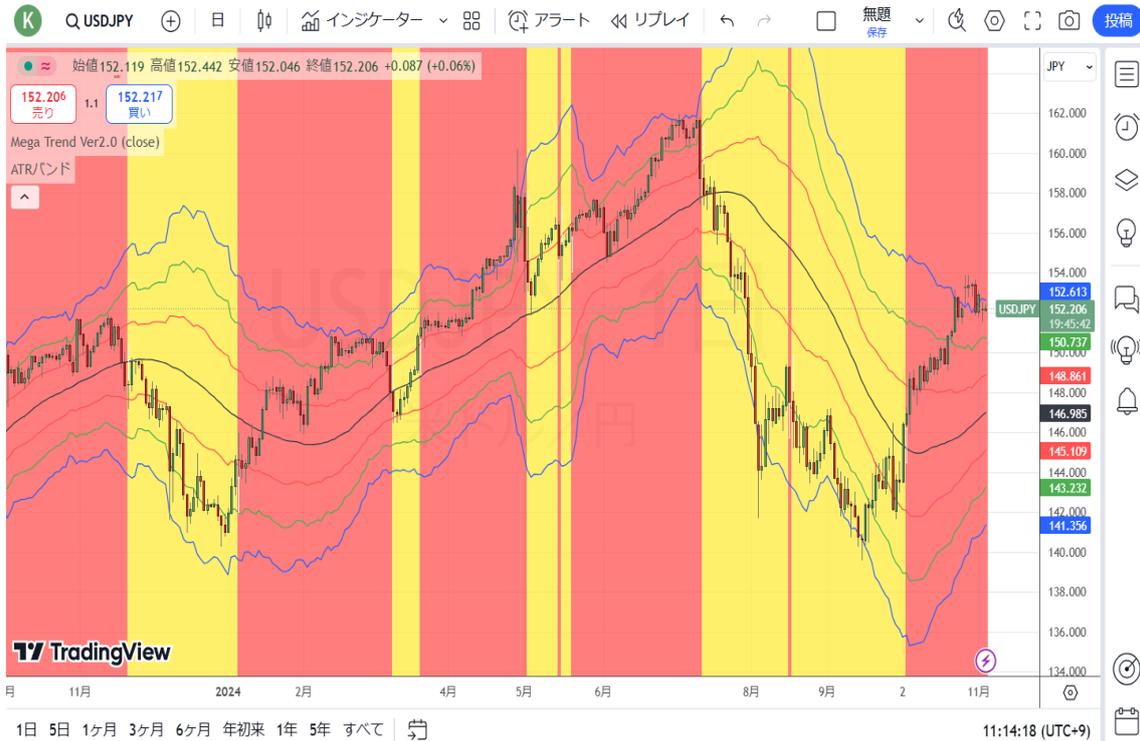
●米国 10 年国債金利（日足）メガトレンドフォロー-Ver2.0 の売買シグナル



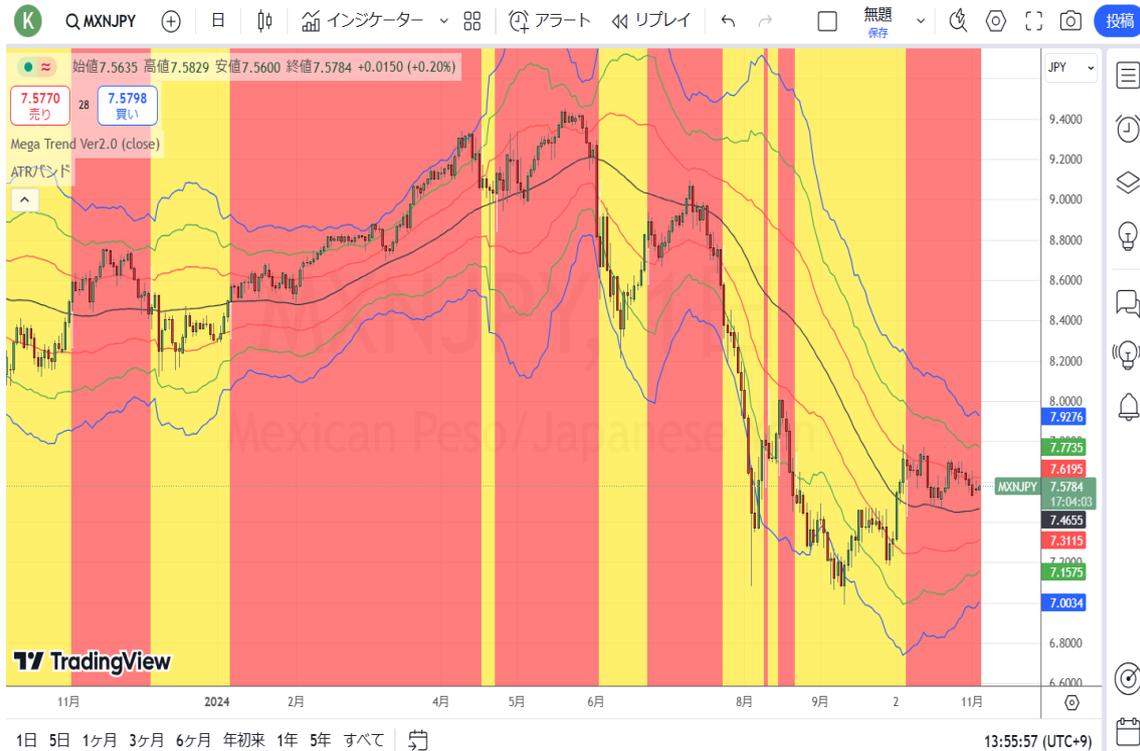
●日本 10 年国債金利（日足）メガトレンドフォロー-Ver2.0 の売買シグナル



●ドル/円（日足）メガトレンドフォロー-Ver2.0の売買シグナル



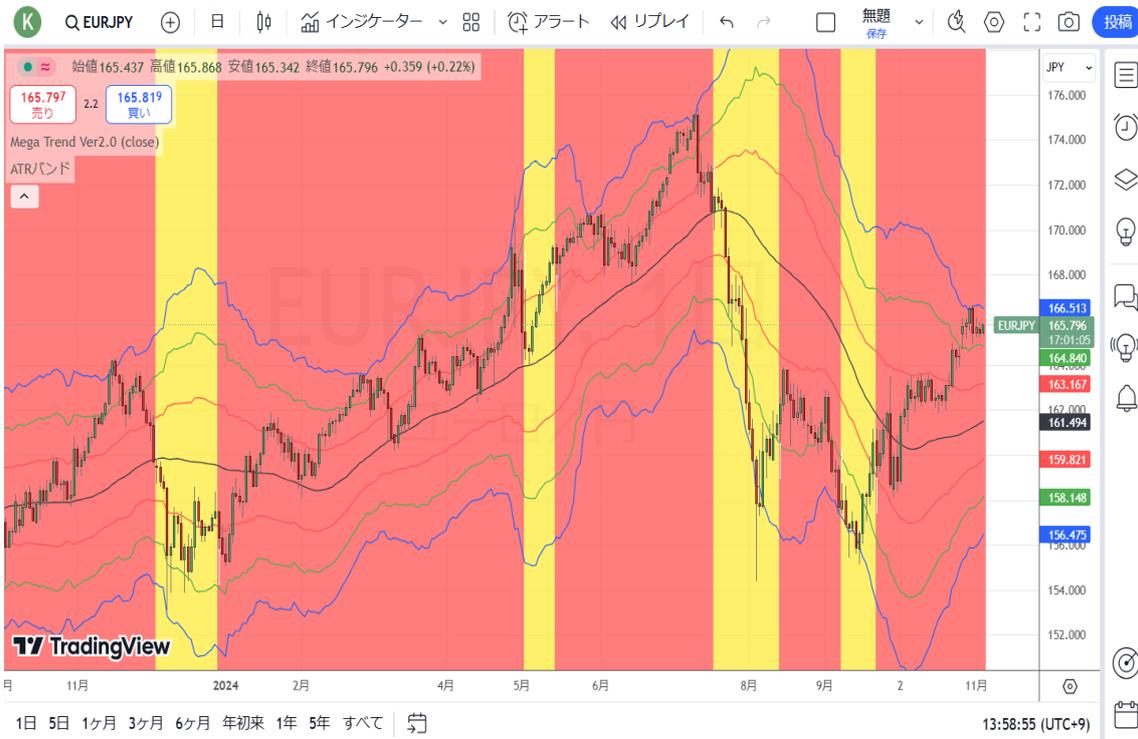
●メキシコペソ/円（日足）メガトレンドフォロー-Ver2.0の売買シグナル



●ユーロ/ドル（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



●ユーロ/円（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



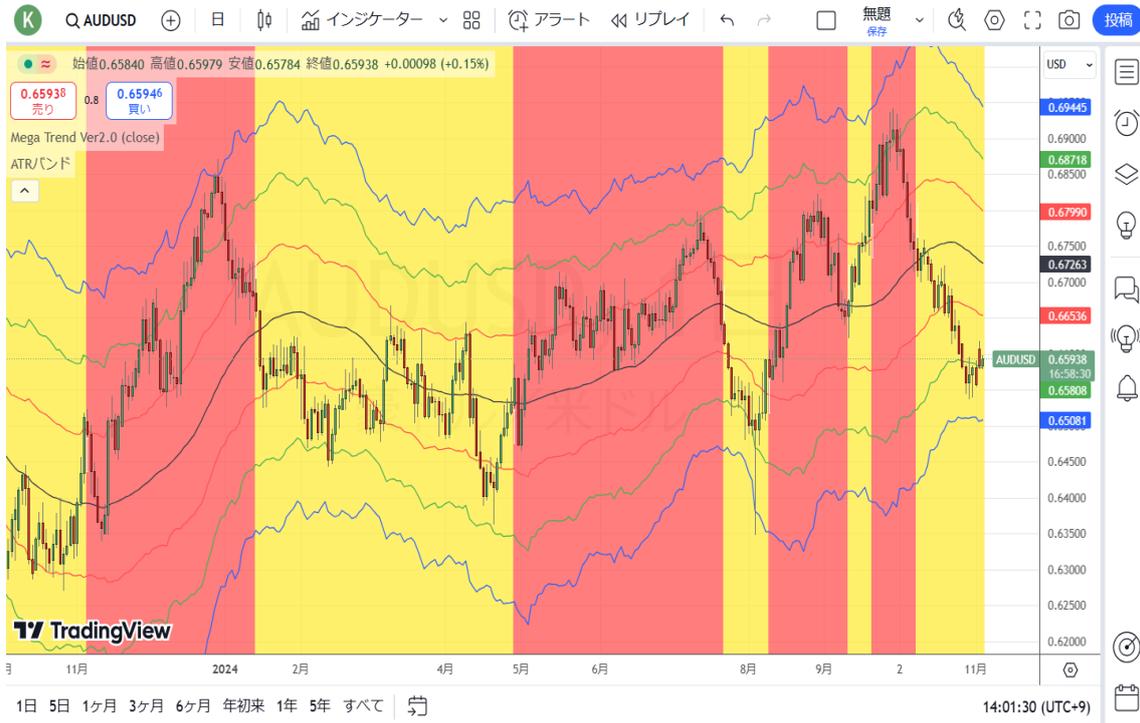
●ポンド/ドル（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



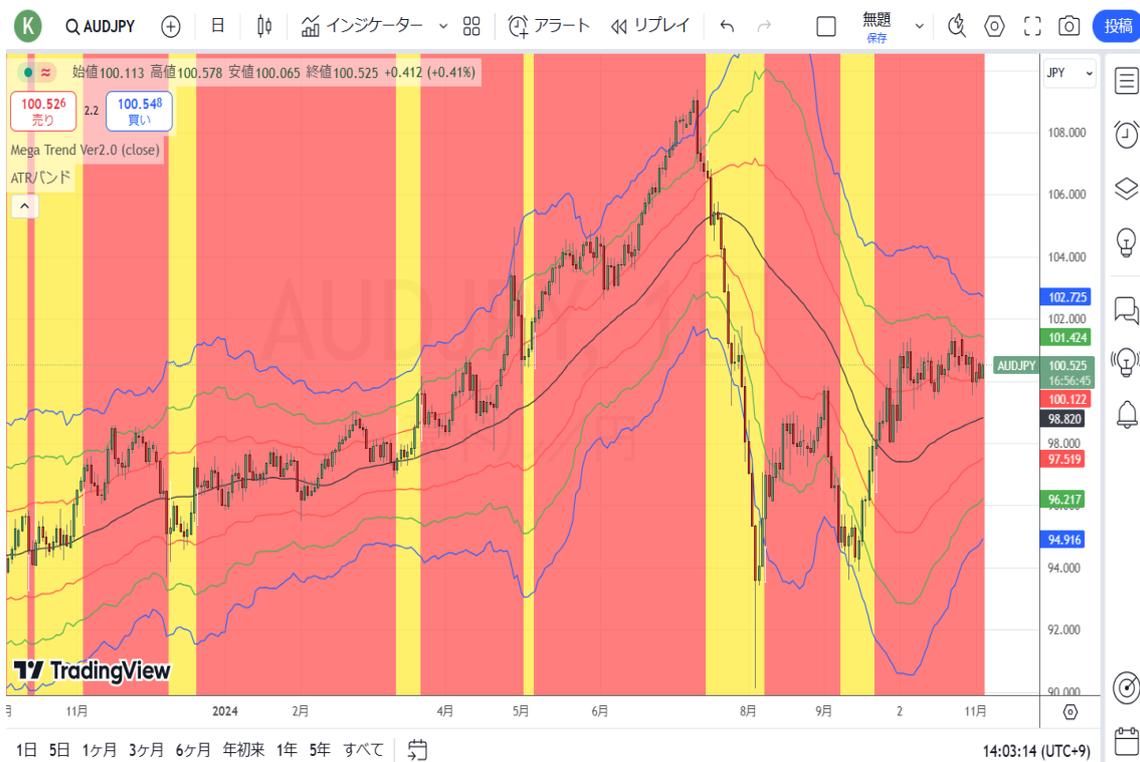
●ポンド/円（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



●豪ドル/ドル（日足）メガトレンドフォロー-Ver2.0の売買シグナル



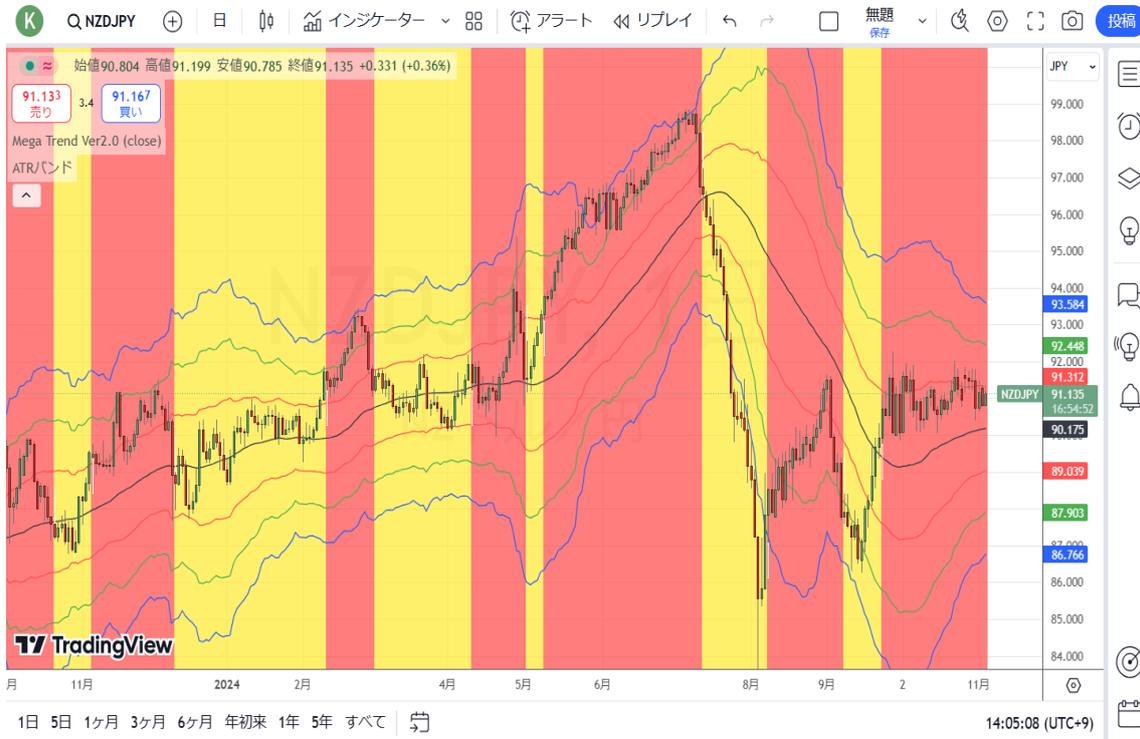
●豪ドル/円（日足）メガトレンドフォロー-Ver2.0の売買シグナル



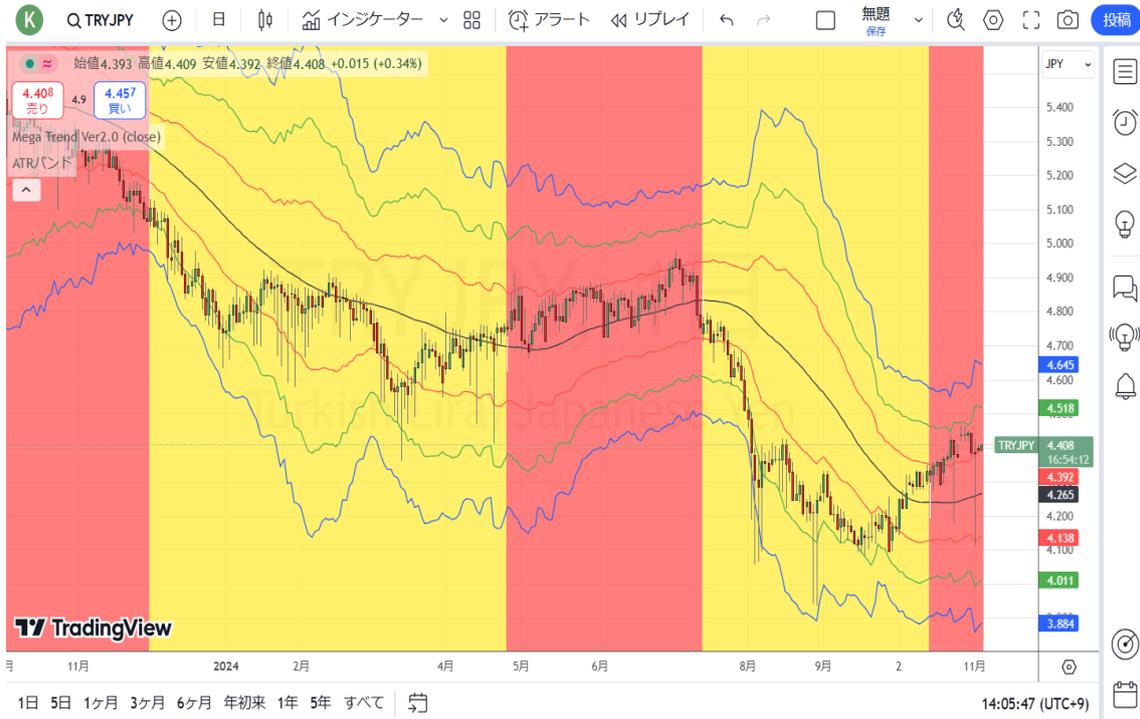
●NZ ドル/ドル (日足) メガトレンドフォロー-Ver2.0 の売買シグナル



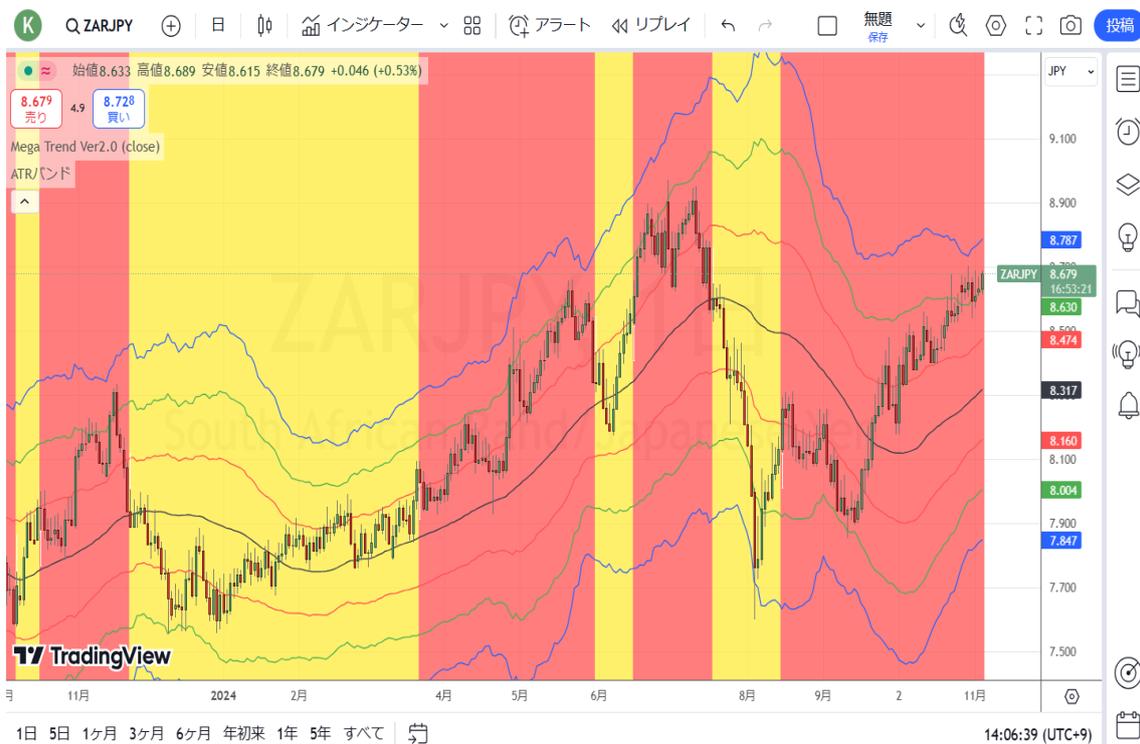
●NZ ドル/円 (日足) メガトレンドフォロー-Ver2.0 の売買シグナル



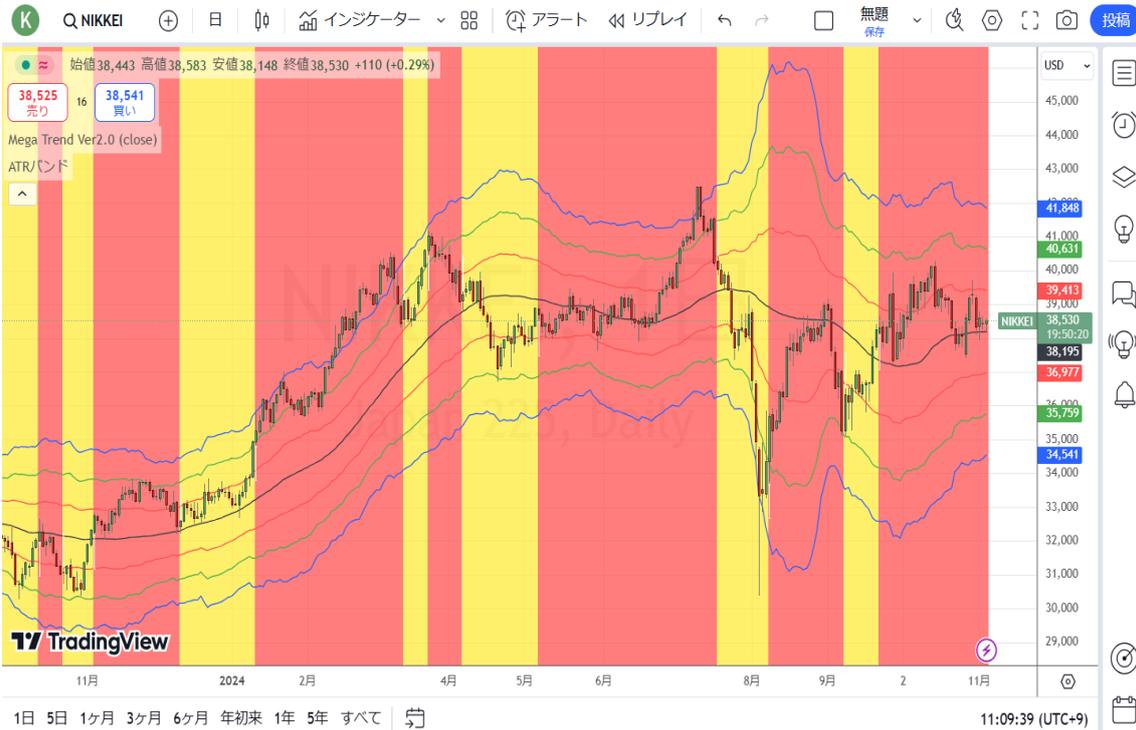
●トルコリラ/円 (日足) メгатレンドフォロー-Ver2.0の売買シグナル



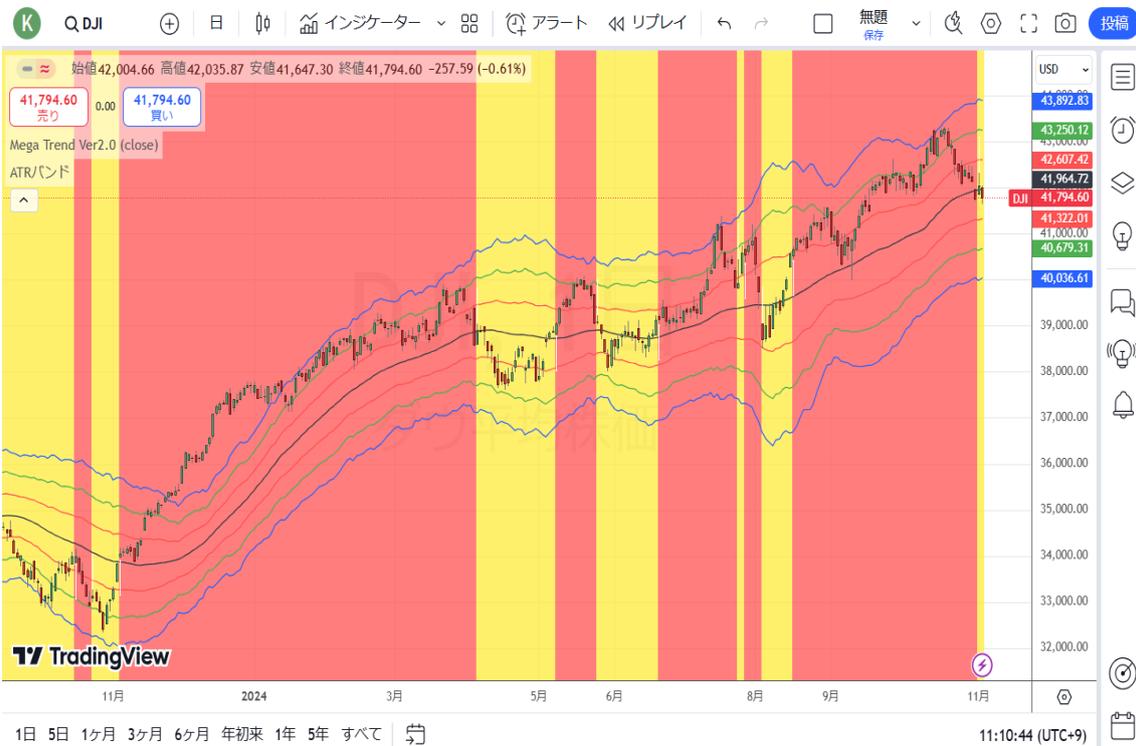
●南アランド/円 (日足) メгатレンドフォロー-Ver2.0の売買シグナル



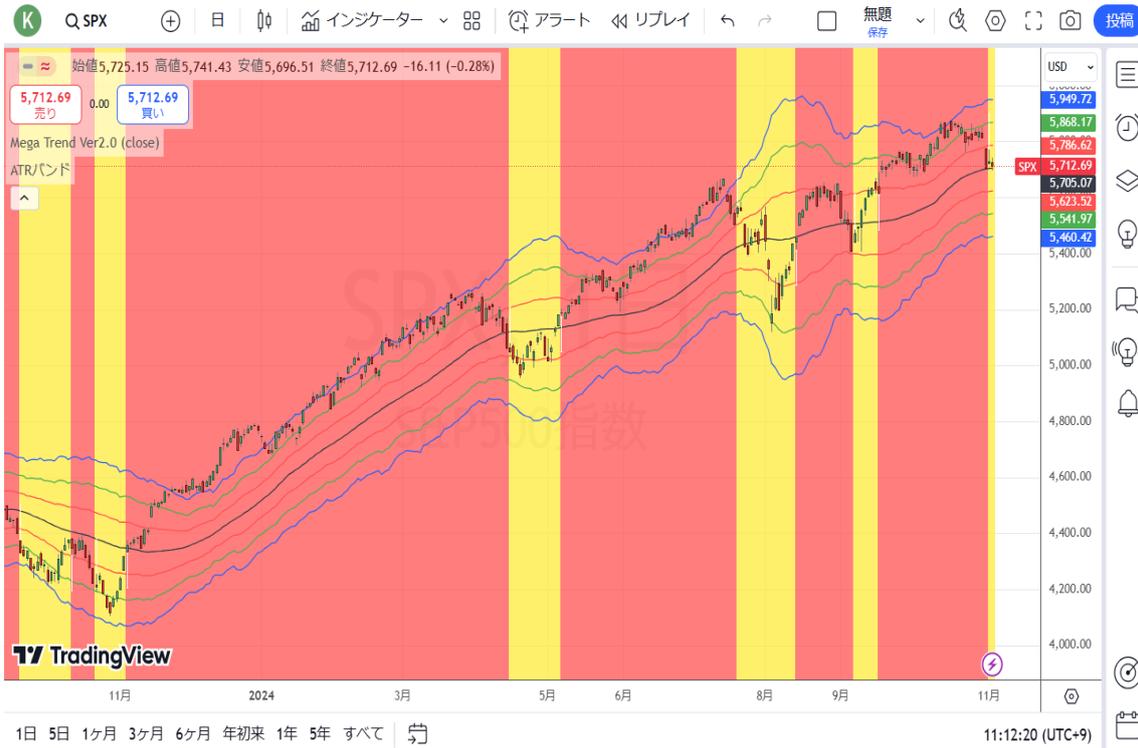
●日経平均 CFD（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



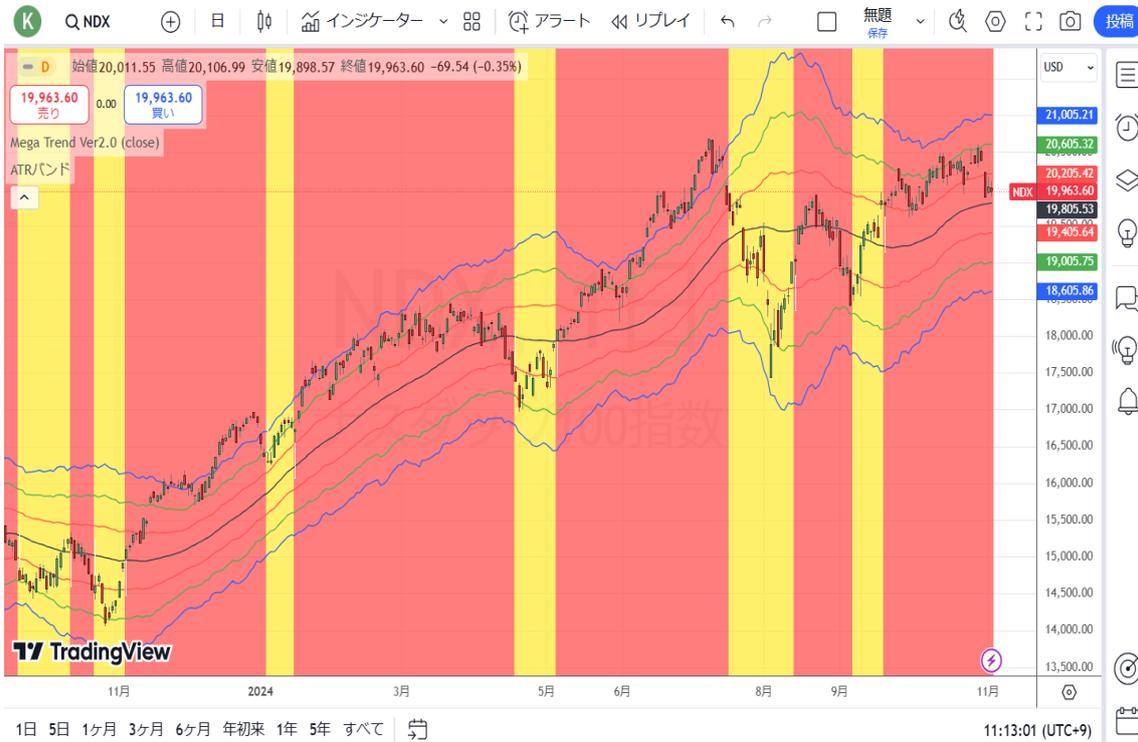
●NY ダウ CFD（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



●S&P500CFD（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



●ナスダック 100CFD（日足）メガトレンドフォローVer2.0の売買シグナル



Youtube 『FX や株で勝てる！？石原順さんの順張り逆張りインディケーター』



石原順のメルマガ マーケットの極意

石原順 (著)
2018年11月発売

読者からの推薦



著名投資家たちの発言の要約や、複眼的な視点での現状分析が、俯瞰的に物事をとらえるために大変参考になります。(A.M様)



これまでレンジ相場でのだましに振り回されることが多かったですが、メルマガとフォローアップ講座等で、トレンドに乗りシグナルを活用して勝率を上げる手法を理解できました。大局観をベースに投資に取り組める重要な情報源。(H.J様)



マーケットのマクロ環境を分かりやすく解説。投資への向き合い方やタイミングも具体的に教えてくださるから。(K.T様)



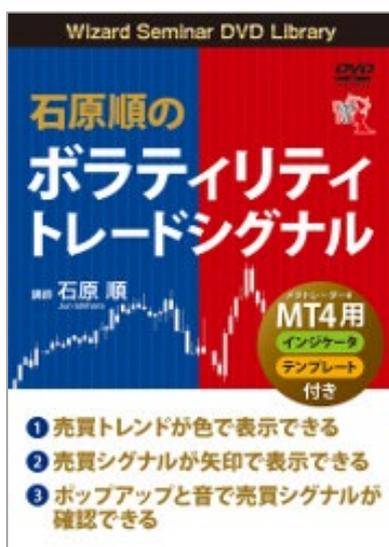
ポリューミーで実践的な情報が毎週送られてくるのに加え、たまに補講ビデオまであり、こんなコストの高い情報源は他にありません。(T.T様)

<https://www.youtube.com/watch?v=2J1epKp6HaE>

投資というのはレベルも背景もまちまちなマスがやる行動。だから、その動きは必然的にランダムになる。だが、市場から利益をもってくるには、ランダムでない部分の抽出方法を考えないと、丁半博打的な胡散臭い世界に引き込まれてしまうのである。賭博は人を惹きつける。だが、それは運用ではない。

(石原 順)

DVD「石原順のボラティリティトレードシグナル」



TradingView で日本株にも対応。

国内外の株価チャートが

表示できるようになりました！

<https://tradersshop.com/bin/showprod?a=15686&c=9784775965207>

Copyright(C)2024 Jun Ishihara & Pan Rolling Inc. All rights reserved.

MACD とトレンド相場

●ドル/円 (日足) **ニュートラル (中立) 相場**



出所：トレーディングビュー（インディケーター：MACDを選択）

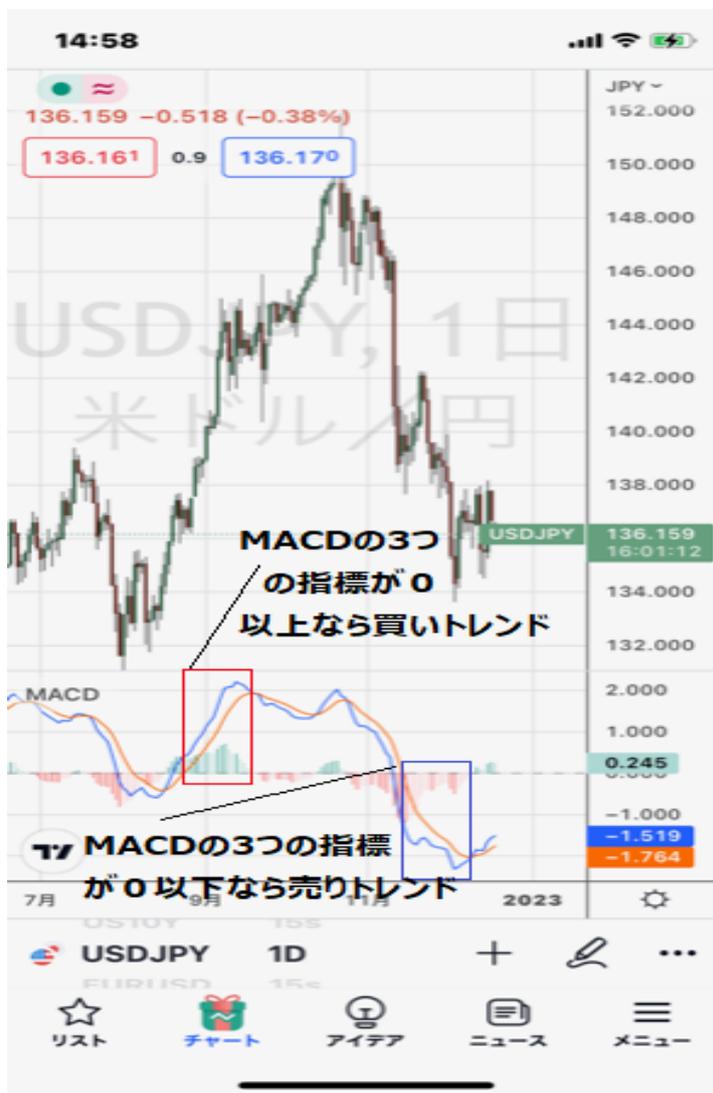
MACD のトレンド判定

＜MACD の 3 つの指標（MACD・シグナル・ヒストグラムの 3 つ）が全部ゼロ以上になったら買いトレンド相場。＜MACD の 3 つの指標（MACD・シグナル・ヒストグラムの 3 つ）がゼロ以下になったら売りトレンド相場。

●ドル/円（日足）

上段：ローソク足

下段：MACD の 3 つの指標（MACD・シグナル・ヒストグラム）



出所：トレーディングビュー（インディケーター：MACDを選択）

DVD 石原順のメガトレンドフォローシグナル「ATRSTOP ライン」

利益を伸ばしストップにも使えるロジカルなインディケーター。

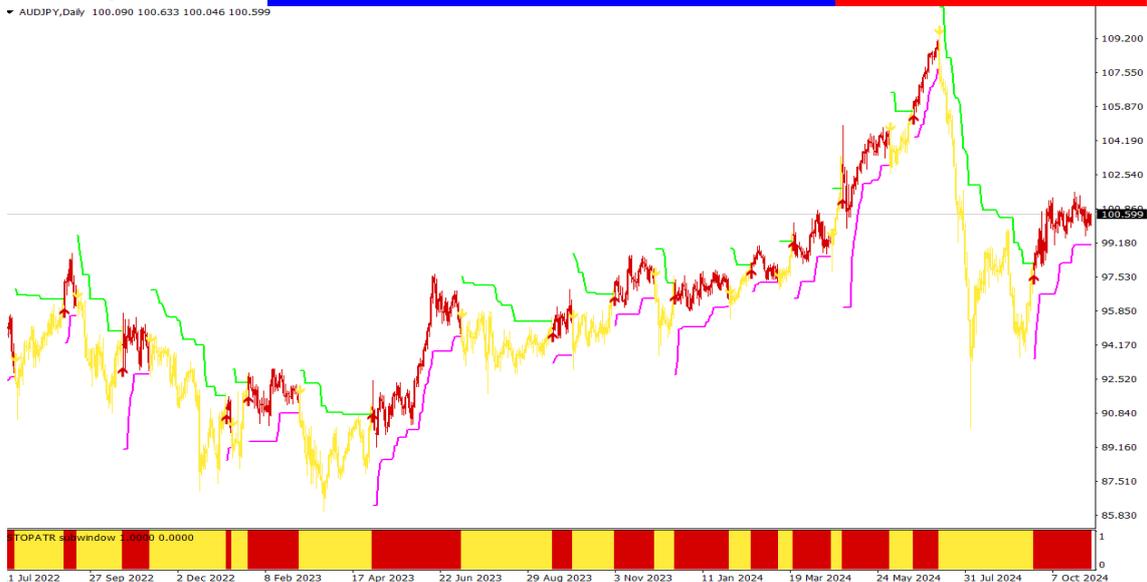
相場の終値が ATR ラインを超えたら売買シグナルが変わる。

ATR をもとにしたトレーリングストップに最適な損切・利確ラインをカスタマイズできる。

一般的にトレンドフォローシステムの勝率は高くないといわれています。つまり成功するために資金管理は必要不可欠です。

- 1、総資産に対して一定以上のリスクをとらないこと。
- 2、トレンドを追いかけることと、
- 3、その手法を堅く守ること。
- 4、リスクを減らすためにマーケットを分散させること。

●豪ドル/円（日足）ATR の順張りシグナルとトレーリングストップライン（パラメーター：3.3）



出所：石原順のメガトレンドフォローシグナル「ATRSTOP ライン」

相場で一番大切なのは防御で、具体的にはストップロス注文を置くことである。あとに残された課題は利益をいかに伸ばすかだが、損失の最小化と利益の最大化を両立させる注文方法は<トレール注文>であろう。

勝っても負けても、皆自分の欲しいものを相場から手に入れる

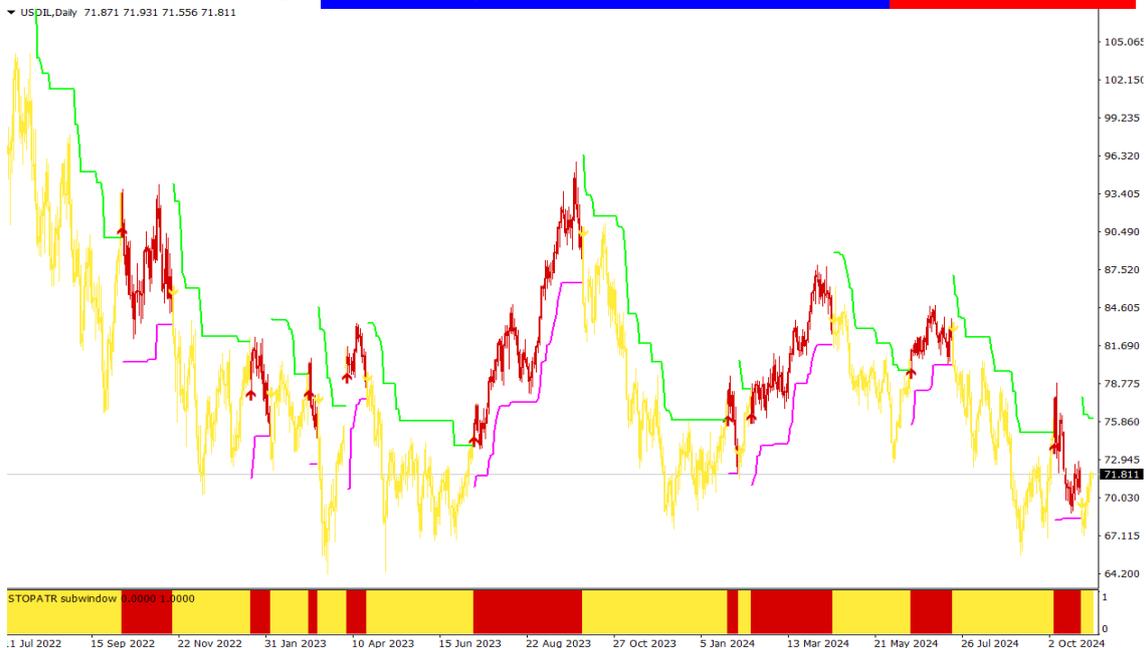
「投資に必要な能力は何か？」という質問をよく受ける。これは難しい質問だが、「未来を正確に予測することは誰にもできない」ので、能力や資質があるかいないかという問題は、「誰も資質がない」ということになる。所詮は人間がやっていることで、投資で成功するかどうは「運」に左右されることも多い。

ラリー・ウィリアムズは、「マネー・マネジメントとは、トレードにおいて最も重要なルールである。トレンドや価格ももちろん重要だが、自分の資金をどう扱うべきかを分かっているかどうかは最も大切なことである」と述べているが、相場を当てる（トレンドをとる）という行為より、資金がなくなってゲームオーバーとなるという事態の方が重要であることは間違いがない。したがって、ゲームオーバーにならないように運用することができる人は、投資家としての能力をもっているといえるだろう。

投資本の名著『マーケットの魔術師』に登場するエド・スコータは、「ほとんどの敗者は負けたがっている、そして目標に到達できない」、「負けるトレーダーは彼自身を変えたいとは思っていない」と述べている。

「そんな馬鹿な話があるか？」と皆が思うだろう。投資家は皆「勝ちたい」と思っているが、実際の投資行動は「負けたい」という投資行動になっていることが多い。エド・スコータは、「勝っても負けても、皆自分の欲しいものを相場から手に入れる」と言っている。これは、相場の本質を突いたとても深い言葉である。

● NY 原油 CFD (日足) ATR の順張りシグナルとトレーリングストップライン パラメーター : 3. 3



石原順のメガトレンドフォローシグナル「ATRSTOP ライン」

石原順のトレードの「基本姿勢」

- 相場はタイミングがすべてである（相場観が当たることと相場で儲けることには何の関係もない）
- 相場は確率に賭けるゲームである
- 相場は防御（資産管理）の上になりたっている
- 素早い意志決定のために売買手法は単純でなくてはならない
- 値頃感を持たない
- 自分のしていることを理解する
- 総資産の 10%を失ったら相場を休む
- 苦境に陥っても自分の決めたルールを守る
- 相場に一喜一憂しない
- 追い込まれてやる売買は必ず負ける
- 常に楽観的であれ
- 相場は明日もある
- 信じられないくらい儲かったら相場をやめよう

W・D・ギャンのトレードルール

筆者の注目する投資家の一人にウィリアム・デイルバート・ギャン（William Delbert Gann）がいる。伝説の投資家 W・D・ギャンは「勝率 8 割という伝聞がある一方で、生涯の最後は損失に終わった」とかいろいろ議論されているようだが、そんなことはどうでもいい。彼が述べた「ギャンの価値ある 28 のルール」こそ、投資家のバイブルとなるだろう。

W・D・ギャンはかつて次のように述べた。「医者や弁護士は医業を営む前に 4 年間医学部で学ぶ。弁護士は弁護士業務を始める前に 3 年間ロースクールで学ぶ。それなのに、十分なトレード資金があるというだけで、なぜ無教育の個人がトレーダーになれるのか・・・？」

そのギャンの「投資で破産しないためのイロハ」が、以下の「ギャンの価値ある 28 のルール」（からの抜粋）である。資産運用は最初に＜防御＞があって、その上に成り立っている。これを守っていれば、市場から強制退場命令を受けることは避けられるだろう。

● 第 1 条 資金管理と損失限度

資金配分を厳密にすること。売買に用いる総資金を 10 等分し、1 回の売買における損失限度は総資金の 10 分の 1 にすること。

● 第 2 条 ストップロス必須

ストップロスを必ずおくこと。損失限度を計算した上、ポジションを持つと同時にすること。

● 第 3 条 オーバーポジション厳禁

過剰な売買を決してしないこと。資金配分に従ったポジション量を厳守すること。

● 第 4 条 トレーリングストップ

利益を確保した後は損失とならないように、ストップロスを変更すること。

● 第 5 条 トレンドフォロー

トレンドに逆らわないこと。トレンドに確信が持てないときは売買しないこと。

● 第 6 条 迷いは禁物

迷ったときは手仕舞うこと。迷った時はポジションを持たないこと。

● 第 7 条 流動性とボラティリティ

活発に売買され、値動きのある市場で売買を行うこと。

● 第 13 条 難平（ナンピン）禁止

難平（ナンピン）は決してしてはならない。これはトレーダーがするかも知れない最悪の失敗の 1 つである。

● 第 16 条 ストップロスキャンセルの禁止

ストップロスは決してキャンセルしてはならない。

● 第 18 条 ショート（売り）の活用

ロング（買い）だけではなくショート（売り）も活用すること。

● 第 19 条 値頃感の禁止

決して値頃感で売買してはならない。

● 第 23 条 理由とルールに基づいた売買

明確な理由なしにポジションを変えないこと。明確な理由のもと、明確なルールに従って売買を行うこと。

● 第 26 条 不確かな助言による売買の禁止

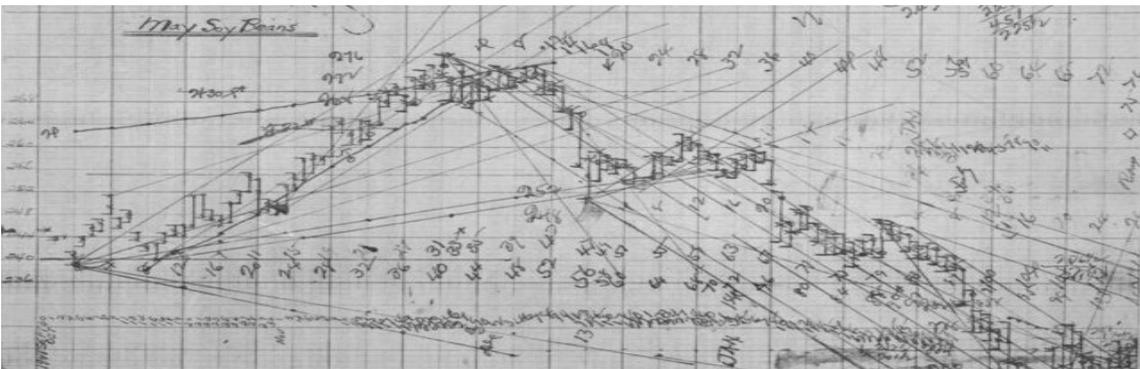
自分より優れた人の場合を除き、他人の助言に基づいた売買は行わないこと。

● 第 27 条 損切り後の資金量縮小

損切りを行ったら、取引量を減らすこと。決して増やしてはならない。

● W・D・ギャンの「Planetary Price Time Secrets」

1949 年の大豆のチャート



著作権

石原順のメルマガ「マーケットの極意」（以下「本レポート」）の全文または一部を電子メール・コピー・ファックス等の手段で複製するのは、著作権法違反にあたります。

定期購読者でない人がパンローリング社以外の情報ソースから電子メール・ファックス・複写物等の形で受け取った場合、著作権法違反に該当します。パンローリング社から書面による明確な承諾がないかぎり、レポートを電子メール等で頒布・配信・転送しないでください。

免責事項

本レポートに掲載された情報・ツール・資料は、あくまで情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。

また、本レポートは一般向けに編集されています。特定の投資目的、特定の投資環境、特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。